京城日報

一日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 郵送料前金（一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢）▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

○退職問題と會議

二十九日總統府内に會議を開き段國務卿以下國務員梁士詒等出席
一、袁總統退職前に各國と締結せる條約は有効に承認する事
二、總統後任者は人望威力兼備の人にして外國の干渉を防止するに足る者なる事
三、退職後袁總統の生命財産の保護及び將來の取扱を寛大にする事を承認す
四、帝政克復は斷じて爲さゞる事
五、帝政主張者の處罰を爲さゞる事
右は段氏の名を以て梁啓超と協議し南方と妥協の第一歩と爲す爲梁氏に打電するに決せり（北京特電）

○北京内閣更迭か

遠からず段芝貴梁士詒内閣を組織すべし（北京特電）

○決戰今酣也

慘憺たる一大激戰

アヴオクールとキユミエールとの間に於て十二基米の距離に渉り獨軍は重砲隊百個中隊以上の威力を以て砲撃を開始し更に一軍團の兵を以て猛進を企てたるに佛軍勇敢に應戰せしかば此處に端なくも慘憺たる一大激戰起れり就中三〇四高地及びモルトームに決戰今や酣なり（巴里電報）

○獨逸都市の炊事官營

食糧品節約の爲＝經費の要求

伯林來電に曰く食糧大臣バトツキ氏は食糧品節約の爲め都會の地に於ける炊事を官營と爲さんとし各都會を若干の區域に分ち市役所の監督の下に炊事場を設立經營せしめん爲め經費を議會に要求せり、又肉類の消耗を防ぐ爲めに其の消耗量を一週間半斤以内に節減したり（紐育電報）

○諸名士著鮮

古海警務總長、陸軍中將山根武亮東拓理事井上孝哉、代議士臼井哲夫の四氏は一日朝新羅丸にて釜山著同十時卅分發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

○中村技師入全

中村農商務課技師は三十一日全州著二日開催の技術員會議に臨み一場の講話を爲すべしと（全州特電）

●混亂せる奉天省の昨今

張將軍の態度と支那兵の暴行

奉天における張將軍狙擊爆彈事件は一時人心を緊張せしめ奉天城内外の人心頗る動搖し其後稍々靜穩に歸せしも混亂狀態は猶依然たり

▲加害者の何者 なるかは未だ判明せざるも支那官憲は必定革黨員の所爲なりと認定し城内外の警戒を嚴にすると共に八方に密偵を派して物色大に努めつゝあり僅に危難を免がれたる張將軍は此事件に一層神經を亢奮し或は革黨員以外にも我を附狙ふもののなきを保せずと稱し部下の軍隊及び巡警に對し革黨員の物色と同時に或方面へも窃に手を廻し居る模樣あり馬師長との關係は依然面白からざるを以て或は此邊に疑念を懷き居るに非ざるか猶ほ張將軍は當時我が中村都督の訪問に際し故らに平氣を裝ひ時節柄斯る椿事の發生は毫も怪むに足らず我れ斃るゝも第二第三の張作霖出づべければ敢て憂ふるを要せずと傲語せるやに傳へらる而かも此の事件以來彼の警戒は頗る周密を加へたり

▲張將軍の態度 は今猶ほ曖昧を極め謂ゆる騎牆派中の騎牆派に屬し其の煮え切らざること夥だしき爲め支那人中にも之を憤慨するもの尠からず或支那人の如きは彼れ張の態度は支那又は東三省の爲を思うて時局に對し自重し居るにはあらで一に自己の立場と將來に於ける一身の安固を圖らんが爲に外ならず中立將軍の多くは皆此類なるも張の如きは其の最も甚だしきものなりと評し居る程なれば此頃の椿事は畢竟是等の憤慨が凝結して自然に暴露したるものに非ざるかと認めらるゝ節もなきにあらず而して此の憤慨は獨り黨員のみに止まらざれば兇行者の何者なるかは暫らく措き事件の動機は單純ならざるが如し

▲支那兵の暴行 之と共に益々甚だしきを加へ二十七日奉天城内宮殿の參觀を終り東華門と中華門との中間を通行せる我が工科學堂撫順分校生六名に對し折柄警戒中の二十七八兩師兵は理不盡にも銃床又は平手にて毆打し或は劍先にて突き更に身體檢査をなしたる上荒繩にて縛り上げ斯くて以上六名の我學生を宮殿西側十王堂の門に繋ぎて種々侮蔑を加へ然る後將軍行署に押送の上放還せるが如何に神經亢奮の折柄とは云へ日本學生に對して斯る大侮辱を加へたるは不法千萬といふべく我官憲は嚴重なる交渉せんこと勿論なるべし彼等支那兵の無智暴行は時節柄實に此上もなき危險事なり

▲邦人の重傷者 張將軍狙擊爆彈事件の起りし時小西關南滿銀行前の第一回目に卽死一、重傷一、輕傷五名を出し圖書館前の第二回目に卽死五、重傷四、輕傷三名を出し猶ほ建物其他の損害もありしが此の餘沫を受け邦人中重輕傷を蒙りしもの及び家屋建物等を破損されたるものあるを以て我が總領事館は其の損害程度を取調べ追つて損害賠償の要求をなす筈なり（大連）

◉私營苗圃發達

樹苗總數一億本

各道私營苗圃に於て客年中に生産せし樹苗總數は九千三百九十萬六千餘本なり、此内四千九百十五萬三千餘本は幼苗なるを以て更に本春苗圃に於て養成するものにして成苗數の比較的少數なるは遺憾なり、養苗に從事せる者は概ね副業として經營せるものにして從員二千三百九十六人を算し之を内譯すれば内地人二百六十一人、朝鮮人二千百三十四人、外國人一人なり、更に此等の内稍多數の樹苗を養成するものを擧ぐれば内地人七十三名、朝鮮人百六十八名、計二百四十一名にして

▲總數の約一割 に相當せり又販賣の爲め比較的大規模に經營せるものは殆んど内地人のみにして其數二十名内外なり、以上の成績を大正三年に比較するに成苗に於て千百九十萬五千餘本、幼苗に於て三百七十三萬三千餘本、合計千五百六十三萬千餘本を增加し、養苗者數も亦内地人十二名、朝鮮人六百九十九人、合計七百七十一人の增加を示せり、次に各道に付き其生產苗數を比較するに慶尙南道は前年と同じく最も多數を占め其數三千百八十六萬三千餘本にして京畿道の二千百八十四萬三千餘本之れに亞ぎ忠淸南道の約一千萬本、慶尙北道及び黄海道の六百萬本臺を主なるものとす、此

▲各道別生產數 を前年に比較すれば慶尙南道に於て約八百五十萬本を增加せるを最多とし其他の各道亦何れも若干の增加を示せるが唯た京畿道に於て約二百三十萬本の減少を見たり、又た養苗者數は黄海道の四百七十七人を最多とし京畿道の三百五十二人、忠淸南道の三百二十四人、慶尙北道の三百二十四人、咸鏡南道の二百二十六人、慶尙南道の二百人を主なるものとす、養苗者の多數なるは小規模經營者の多きを示し又た内地人の經營者は

▲全羅慶尙地方 に多し養苗樹種中生產數の最も多きはマツ類の四千二百六十六萬九千餘本にして咸鏡南道を除く各道何れも是を産せり次で多數なるはニセアカシヤの二千三百三十二萬二千餘本クヌギの一千七百十六萬五千餘本、クリの四百五十四萬七千餘本にして之等は各道概ね之を生産し、其他カラマツの百九十二萬九千餘本、白楊類の百七十八萬餘本順次相亞げり

◉煙草伊國輸出

總督府度支部專賣局岡田技師は先年渡歐の節伊太利に於て同國專賣局長官に對し朝鮮產葉煙草の使用方を慫慂し、歸朝後直ちに見本を寄贈したるに同國專賣局にては試驗の結果此程總督府に對し寧越、谷山並に龍仁の在來葉三種を選び各五十貫宛を注文し來れるより專賣課にては目下荷造り發送の手續中なり、岡田氏の談に依れば此三種は多分タスカニシガアと稱する葉卷の原料として使用する意嚮なるべしと

◉調査簿展示

左記各道各郡地域内の土地所有者及び其の彊界は土地調査局の査定終了せしに付調査局にて土地調査簿及び地籍圖を其の土地所在の郡廳に備へつけ一日より三十日迄一般の縱覽に供する由に付當局の査定に不服の者は公示期間滿了約六十日内に高等土地調査委員會に申立つべしと

京畿道 楊平郡、加平郡、抱川郡
忠淸北道 丹陽郡
全羅北道 益山郡、金堤郡、[illegible]
慶尙南道 陜川郡、[illegible]
平安南道 [illegible]、大同郡

◉典獄會議（第四日）

典獄會議第四日は前日に引き續き一日午前九時より總督府第二會議室に開會總督府側よりは寺内總督、山縣政務總監以下關係各部長官、局長、課長等列席し國分司法部長官統裁の下に直に日程に入り午前は提出意見午後は協議ありて四時散會したり

◉人蔘耕作者表彰式

總督府專賣課開城出張所にては一日午後一時より同管内に於ける人蔘耕作者及び傭人に對し褒賞授與式を擧行せるが荒井度支部長官は平井專賣課長不破事務官を隨へ一日午前九時十分南大門發同地に赴き式に臨席したり

◉海事博受賞者

海事水產博覽會に於ける朝鮮側の出品中、受賞者は總計七十二名にして金牌二、銀牌九、銅牌十九、褒賞四十二なり

◉住友一行招待

▲朝鮮銀行 朝鮮銀行にては入京中の住友忠輝及び住友家總理事鈴木馬左也兩氏の一行を一日午後六時より千代本に招待し盛宴を張る由なるが銀行よりは勝田總裁水越三島兩理事大原秘書役等列席すべしと

▲銀行集會所 京城銀行集會所にては三日午後六時より入京中の住友家總理事鈴木馬左也住友忠輝兩氏の一行を同所に招待晩餐會を開く由

▲東拓晩餐 東洋拓殖會社にては三十一日午後七時より花月に於て入京中の鈴木住友家總理事住友忠輝氏の一行を招待し盛宴を張れるが各部長官陪賓として列し會社よりは野田副總裁林村田兩理事出席したり

◉古海總長歸京

客月二十三日夜南大門驛發列車にて東上滯在中なりし古海警務總長は三十日一大阪發歸京の途に就き前項電報の如く一日朝關釜連絡船にて釜山に上陸直ちに列車に搭乘したれば一日夜九時南大門驛著列車にて歸京す

◉山形憲兵大佐東上

總督府警務部高等警察課長山形憲兵大佐は來る三日京城發東上し暫く滯在の後二十二日夜九時南大門驛著列車にて歸京の豫定なりと

◉市川旅團長歸任

部隊視察の爲め入京中なりし平壤步兵第三十九旅團長市川少將は隨員副官を隨へ一日朝九時四十分發列車にて歸任の途に就けり

◉吉原總裁消息

東上中の吉原東拓總裁は株主總會終了後稍咽喉を損じ目下自宅にて靜養中なるが或は姑らく海濱に轉地の必要も生ずべく其歸京は十日過ならん

◉野田副總裁の急行

野田東拓副總裁は貝島太助氏重患の報に接し一日午前八時三十分南大門發列車に搭乘し急遽福岡縣直方へ向け出發したり

◉井上理事歸任

株主總會列席の爲め東上中なりし井上東拓理事江文書課長の兩氏は一日午後九時歸任すべし尚ほ白鳥株式係書記は三十一日夜歸京したり

◉貝島翁病狀

門司電報に據れば貝島太助氏は病氣危篤の趣なりしが一時危篤に陷りしも其後稍病狀を持直し安靜を保ち居れりと野田東拓副總裁の許に電報ありしと

◉高知縣視察團

高知縣教育會主催滿鮮視察團一行廿五名は安藝教育會長引率の下に既に滿洲各地の視察を終り一日朝安東發平壤に向ひたるが午後一時半平壤著同地一巡の上二日前一時出發二日朝入京の豫定

【釜山】

▲輕鐵披露宴 朝鮮輕便鐵道株式會社は其本店事務所を釜山に設置したるにつき其披露として六月一日午後六時より停車場ホテルに於て釜山官民重立ちたる人々を招待し盛宴を張るべし▲迫間氏の廣文庫寄贈 迫間房太郎氏は本邦に於て未曾有の大著述にして吾邦學界の誇として今や内外間に其盛名を博しつゝある文學博士物集高見氏の新著「群書索引」及「廣文庫」の購入方豫約をなし之を釜山圖書館に寄贈し以て永く公衆の閲讀に供せんと▲迫間氏の視察 迫間房太郎氏は三十日午後十一時發にて京城に赴き滯京二三泊にして湖南線に入り各地を視察する由日程は約一週間との事▲白井旅團長 當地守備隊檢閲の爲め三十日午後來釜の大邱步兵第四十旅團長白井少將は三十一日午後四時發にて歸任す▲輕鐵重役招待會 三十一日午後七時より若松府尹大池香椎五島其他諸氏發起となり朝鮮輕鐵重役牟田口佐藤の兩氏を鳴戸本社に招待し晩餐會を催ふしたり▲前田文學博士講演 來る二日三日の兩日を以て當地本願寺別院に於て稲葉帝大講師文學博士前田慧雲師の講演會を催す筈なりと▲架橋護岸工事 釜山富平町及び土城町の海濱護岸工事竝水川に架橋工事の請負入札を行ひたる結果信畑兼太郎二千五百五十圓にて落札し竣工期間は九十日なりと

【大田】

▲實業協會 大田實業協會を設置すべく其筋より認可を得たるを以て過日創立總會を開きしに岸辻内藤澁谷大野の發起人諸氏を合せ十三名集會各區に會員募集委員を設け岸辰一氏を委員長に押したるが中に現今の大田の狀勢より鑑みる時は時期或は早きに失せずやとの說出でたるも一面より見る時は決して尚早にあらずとなし結局二三日頃再び開會熱議すべしと▲中隊長會議 第七十九聯隊第一中隊第二中隊長會議を廿九日三十日の兩日同聯隊本部に開催せしが終了せしを以て木津和大尉（公州）楢木大尉（水原）共に卅一日零時三十分發列車にて歸任せり▲憲兵巡查補試驗 忠淸南道警務部にては巡查補試驗を六月廿五日憲兵補助員試驗を七月一日行ふ由

【永興】

▲建築列車運轉 永興文川間鐵道軌條引延工事は去る二十二日を以て全部の完成を告げ建築列車の開通を見るに至り目下午前七時元山發同十時永興著午後五時永興を發し元山に向ひ運轉しつゝあり▲停車場竣成期 元山西川組に於て請負工事中の永興停車場は七月十五日までに竣成の豫定なるが該工事引渡期は八月十六日なりと▲市況 農繁期に入りたるを以て一般に商況不振を免れずと雖も例年の如く黑鉛其他諸種の採掘を開始せられしと一方元永鐵道開通期の迫れるが故に市況は自然活氣を呈し居れり

【江陵】

▲中線道路狀況 江原道江陵利川間道路工事は其後著々歩を進め淸水辰平氏を初めとして關係員一同奮勵し竣工期は大正六年三月までなるも今年中には必ず竣工せしめんと務めつゝあり▲第三區竣工 昨冬來の江陵市内より邱山里に至る一里十八丁二等道路工事は四月末日迄に竣工し此程土木局の檢查も終了したれば本月より難工事中の難工事たる大關嶺の工事に著手すべく邱山事務所引揚げに著手しつゝあり▲江陵注文津間架橋 連谷面の石陵川の架橋は六月一日より架橋に著手すべく目下其準備中なり▲注文津江陵間客馬車 は六月一日より運轉開始する事となり車體馬等は大分縣より取寄す筈にて目下準備中▲海參漁獲高 本年三月一日より五月まで海參漁獲數七萬斤餘にして其額五萬圓餘に達したるが昨年に比し一割の增漁なりと云▲藥城會 吉野那田山氏を頭に置き好者連二十二名にて組織せる藥城會は本月にて第三回を迎へたるが月を追て盛況に向ひつゝあり▲警察署長歸期 目下署長會議に出席中の警察署長小林逸郎氏は本月末日春川出發歸署する筈なり

人事消息

▲本谷丞金氏（善隣商業學校長） 嚴父危篤の報に接し一日夜南大門發歸省
▲山口高商見學團 入京中の處三十日夜退京
▲[illegible] 一日午前九時二十分南大門發列車にて元山へ
▲中村純九郎氏 同上
▲大塚常三郎氏（第二課長） 水利組合事務視察の爲め三日金海郡へ出張
▲木川幸介氏（技術技師） 入京中の處一日歸任
▲福原俊丸男（貴族院議員） 一日朝發歸京

北京より

木村經郎一行消息 外一名生

△覇心今知る萬壽山

北京著、蒙古風東海の子の京に入る、これより南苑萬壽山見物にまかり候。著後直ちに萬壽山に汽車を驅る、汽車とは支那語自動車の義なり。

京風や覇心今ぞ知る萬壽山

規模の雄大、儒夫尙帝王の志を起すべし。袁三百萬を投じて宮殿を修理し、帝政の準備全く成るを見る。支那にあつて帝王の志を起さゞるあらば、この人多くいふに足らず。支那に入つて始めて袁の愛敬すべきを知る。

○又支那兵我兵に暴行す

濟南駐屯の支那兵は我守備兵の射的場に赴く途次を待ち伏し之れに對し暴行を加へたり（靑島電報）

○山東省の獨立頓挫

張懷芝山東將軍となり爲めに獨立の氣勢に頓挫を來せり（北京電報）

○袁總統の馮排斥策

袁總統は南北妥協條件を直接南方政府に打電し他面張勳倪嗣冲と結びて馮國璋排斥策を講じつゝ陝西浙江兩省討伐を期し準備進捗中なり（北京電報）

○米人顧問傭聘

袁總統は顧問として米人を傭聘せり（北京電報）

○遼河浚渫問題

我主張貫徹せん

遼河浚渫問題に關する日英兩國人間の葛藤紛爭事件は結局我が主張通り貫徹せらるべし（東京電報）

○日露銀行計畫

日露銀行設立に關し露國側實業家間に計畫進捗中なりと傳へらる（東京電報）

○タゴール拜謁か

來朝中の印度詩人タゴール氏に對し畏き邊りの御都合次第拜謁を允許せらるゝ事となるべしと漏れ承はる（東京電報）

○爆彈事件と法相

大隈首相襲擊爆彈事件に關し尾崎法相は語つて曰く大隈首相邀擊に使用せる爆裂彈にして若し鑑定人の證言により効力無かりしものと決せば爆彈事件被告人福田下村鬼倉等は恐らく無罪たるべきものなり云々（東京電報）

○選擧法調査會

政府は選擧法改正調査會組織の進行中にして近く之が發表を見るに至るべし（東京電報）

○工場法と進退伺

工場法の延期は責任案より農商務省に存するを以て同省次官上山滿之進及び商工局長岡實氏は共責に任じ進退伺書を提出せり（東京電報）

○貝島氏病氣良好

貝島太助氏は數年前より神經衰弱症に心臟炎の氣味ありしが五月十九日來病勢進み安眠し得ず呼吸困難の狀態なりしが博士其他多數の醫師を招き手を盡して看護せし結果二十九日より漸次良好に向ひ三十一日より家族一同愁眉を開き居れりと（門司特電）

○大田と人士往來

古海警務總長は歸京の途一日午後五時大田驛を通過す可く山根中將予備學務課長は同一時木浦へ向ふ（大田特電）

日盛り

●遊覽園は平壤の名所を何うして見物するか

來て見れば左程でもなし淺間山、さかいふ話がある、名前丈聞いてゐて想像してゐた人は會つて、いろ／＼話して見ると、案外それが遠くから想像してゐたのに反して、詰らない人である事を發見する事がある、世の中の名所舊蹟と云ひ、景勝地と言つたところで、大抵これに類するものだと、思つてゐた私は、始めて平壤を觀て、私の癖で何事にも負惜しい反感を有つて、皮肉に考へるところから、平壤に對しても、どうせ近づいて見たら、下らん所だらうと思つてゐた考へが全く私の誤謬から歸られたために、その反動でもけるのか餘に平壤贔屓者となつてしまつた事を茲に正直に告白しておく、その結果、平壤であつた四五人、府廳だの道廳だのその他の人々に對して前に記したやうな意味の事を臆面もなく言つてしまつた、それは通り一遍のお世辭でなく、秀麗なる平壤の自然から受けた第一印象を語るに最も適當な言葉であつたからである。しかし私は此の大自然に對して謙然と不甚麼な自分の感想を記す事を恥めて遊覽園諸氏のために忠實なる案內者とならう

遊覽園を乘せた臨時列車は五時四十分に平壤驛に著くと驛の廣場には自動車や人車鐵道、人力車が初夏の朝の清々しい空氣の中に遊覽園員を迎ふべく待つてゐる。燐寸箱のやうな可愛い人車鐵道は二十輛餘りあつて百人近くの人を收容する事ができる停車場前から大和町、郵便局先きまでが七錢、自動車は四人乘りのが三臺停車場から牡丹臺まで一人四十錢で平壤市街を縱貫して大同門、練光亭前を過ぎ江岸に沿うて清流壁下の坦道を矢の如く疾驅して十分內外で浮碧樓の直ぐ下までゆく人力車は同じく牡丹臺まで五十錢である、此の里程一里強、土地の名所を我物顔に心得て不當な賃錢を貪らねば安心して孰れを撰ぶも自由であらう、牡丹臺迄行く前に見落してはならぬのは驛の直ぐ前にある京義線建設の記念碑の傍に在る箕子井である。此の井戸は平壤の始祖たる箕子の築いたもので東明王の時代には王が之れを飲用したとの說があり土地の人は靈水として古跡の一になつてゐる、又車の便を藉らずしてブラ／＼歩いてゆけば道を江岸道路に執つて、鍾閣——今を距る二百四十年前、時の監司尹憲柱が建設したもので始め大同門の樓上にあつたのを今の場所に移したもの、——中に入つて龐大な內にも精巧な鐘を見て平壤六門の一なる大同門から文祿の役に小西行長が明將沈惟敬と和を講じたとの說にその名を知られた練光亭の清雅な建築及び、その下に浮かんでゐる、高濱盛子が主唱して數年間の苦心に成つた畫舫の雅麗なるを觀て大同江岸に出れば燻をかけた銀盤のやうな靜かな河面には今しも朝霧が晴れて、初夏の朝の陽が力強い光を水の上に投げて、對岸の芝生が淺黄色に美しく照り映わる、江心に浮かぶ扁舟の搖々たるを見ながら嚴壁の下を往くと翠綠に包まれた牡丹臺が眼の前に迫つてくるところ、道の片側に奇巖重疊として渚汀を覗く清流壁に出る或は屏風を立て廻したるが如く或は板を立て掛けたるが如く、色紙を置きたるが如く、短冊を掛けたるが如く滑らかに削られた自然石の面には此處に遊んだ今の文人墨客の名前が一々刻みつけられてある、その中から知つてゐる人の名を見出してゆくのも面白い前の一進會長として知れた李容九氏の名が參領李容九とあり、閔丙奭子の氏名など特に眼を惹くもの、一つである、清流壁を過ぎると牡丹臺下の浮碧樓だ、步るいて來て約二時間浮碧樓附近で朝飯になる（つゞく）

●三機雁行 一百海里を飛ぶ

海軍航空隊第六期生卒業飛行

横須賀海軍航空隊第六期生卒業飛行は豫定の如く二十九日午前より勇ましく開始されたり此日夜來の暗雲は遂に雨となり東天白む頃には雨勢漸く激しくなりしも

▲恢復の見込み ありとて飛行場にては五時半より準備に著手しイの四號は第二滑走臺に同六號は第三滑走臺に同八號は第四滑走臺に何れも引出だされ機體の檢査を終へ一面同日帖艦の勤務に服すべき第三驅逐隊の三ケ月は第一區警戒區域たる追濱、大島間に同白露は第二區域の大島、下田間に同夕暮は第三區域の下田、田子間に又夕立は第四區域田子、清水間に出動遊弋し茲に

▲全く準備整ひ たり時に雨次第に霽れて風波又靜まり絕好の飛行日和となれり斯くと見たる山內司令及び練習飛行隊長金子少佐は往航の勇士山口、大西、荒木の三中尉を塲內士官室に集め其々訓示を與へ間もなく三氏機上の人となり八時三十五分山口中尉搭乘の四號を先頭に大西中尉の六號荒木中尉の八號次で滑走臺を離れ西に向つて出發し更に機首を東に轉じて沖合に碇泊中の巨艦比叡、榛名、霧島

▲三艦の上を掠め て悠悠飛行場前面を航空したる後四號六號八號の順序にて三機雁行して針路を眞西に執り同五十分前後觀音崎方面に機影を沒したり斯くて九時四十五分三保村折戸及び三保神社の森の上空六百米突の上空に三機現はれ變て三保松原の上に至るや三機共舵を右方に轉じ一直線に三保眞崎に沿うて四號六號八號の順序を以て中角度の下舵にて左に

▲大圓形を描きつゝ 母艦若宮丸及び碇泊中の鎌倉丸、多闘丸の檣頭を掠め入亂れて數回の旋回飛行を爲したる後四號先づ格納庫前にて水上滑走を爲し砂濱に著陸したり夫れより六號及び八號は右と左に同樣著陸せり斯て三中尉は大崎大尉と共に母艦若宮丸に到り艦長安達中尉に委細報告せり（靜岡）

●四百餘名の大格鬪

忠北堤川郡の重石鑛盜掘騷ぎ

忠北堤川郡水山面赤谷里所在の國有山地に重石鑛脈あるを同里の者が發見し五月十八日約八十名にて盜掘中之れを知りたる同郡德山面道田里の鑛夫數名更に其幾部を盜掘せんとしたるより端なくも紛擾を惹起して鑛夫等は毆打され逃歸りたるが復讐せんため更に約三百名を募り大擧して再度同所に赴き茲に四百餘名入り亂れて大格鬪を開始したり急報に接し所轄堤川警察署より鎭壓の爲め警官現場に急行したるに赤谷里の者等は同里所在螺良某の經營し居れる鑛區內に逃げ込みたれば道田里の鑛夫等は更に轉じて同日午後四時頃同鑛區及び鑛業事務所に押し寄せ猶も狂ひ廻りて內地人に迄危害を加へんとし遂に赤谷里の住民十名を拉して同夜九時頃晚道巡査駐在所に出頭して訴へ出で所員の取鎭めに依つて一同解散したり然るに翌十九日に至り水谷里に一名の死亡者あるを發見し目下同所に於て加害嫌疑者十五名を逮捕し嚴重取調中

●婦人を辱めた覺え無し

乘客凌辱事件

三十一日午前九時から遞信局內海事審判所で前朝郵慶興丸船長田中常信の婦人乘客凌辱事件の海事審判が開かれた、審判長は伊藤海事課長審判官は水野判事塚越技師の兩氏それに檢事格たる島田理事官が立會した

▲事件の要領は 大分縣人大倉はつ（三）なる女が昨年九月二十五日靑島より木浦に來り濟州島西廻り航路の朝郵社船慶興丸にて城山浦に赴く航海中廿六日の午後十時船長田中は三等船室に唯一人乘り込み居れる同女をボーイに命じて船長室に運れ來らしめ脅知にも非ざる同女に下女奉公を勸めしのみか言語動作にて同女を侮辱したる非行ありて其れをはつが當局に申告して問題が起つたのである、田中は

▲審判長の審問 に對し始終曖昧なる態度と口振りにて答辯しつゝありしが兎に角ボーイをして女を呼びにやりし事なく事實は女が恣に船長室に入り來りしに付風采態度より見て上流の人ならざるを思ひ下女奉公を紹介せんと云ひたるのみにて淫らな振舞ひは斷じて覺えなしと答へ更に審判官理事官より交々訊問せられし末證據調べに移り次で島田理事官の論告あり島田氏は田中は多年船長の職にあり一船內の風紀を維持し

▲其の取締の任 に當るべき責めあるに拘はらず夜中年若き女を濫りは自室に引き入れ船長として保護し尊重すべき乘客に對し下女奉公を勸め加之無禮の行爲を加へたるは甚だしき失行なれば海員懲戒令に依り譴責を望むと結び次に辰市氏の失行證據不十分論あり十一時十分一先づ休憩十二時再開審判長は田中の失行を論じ船長の免狀停止一箇月間に處する旨の判決を言ひ渡した、尙ほはつが申告するに至りし事情は當人の意志よりも寧ろ田中船長と

▲平素不和なる 同船二宮運轉手がはつを煽動せしは事實らしきも斯の如き失行が船長により船內に於て行はるゝは苦々しき事なり

●電車少女を轢く

龍山山手町吳永善長女吳姓女（五）之は三十一日午後三時十分頃元町三丁目電車線路內にて遊び居りし折柄進行し來れる三十七號電車の運轉手は之れを見て極力運轉を停止したるも惰力に依りて同女は遂に車體の下敷となり顏面腹部等を裂き無慘の卽死を遂げたり急報に接し元町派遣所員出張檢視の上屍體は實父に引渡したり

●狂犬五名を咬む

京城嘉會洞矢田某の飼犬は三十日及び翌三十一日兩日に同洞朴石俊（一七）鍾路二丁目朴某本町三丁目小林備義（二三）若草町野口さの（三三）同町小兒某の五名並に附近の畜犬四頭に咬傷を負はしたるより三十一日診斷の結果狂犬と判明し被害犬も共に卽日撲殺したり尙苑南洞今泉某の犬も發病し同日撲殺したり

●巫女

京城和泉町東姓女（三九）同町林姓女（四七）同町申召史（四七）等の巫女は各戶に神佛の祭祀を爲し愚民を欺き祈禱料を貪り居りし爲め卅一日本町署にて各科料處分となりたり

◎鐵道局職工給仕募集 鐵道局にて石版職工一名及び給仕若干名を募集する由なるが身體強健にして確實なる身元保證人を有する希望者は五日迄に自筆の履歷書を持帶の上同局總務課へ出頭すべしと

平壤遊覽會

設備

新綠の柳京！ 古戰場の平壤！ 六月四日の日曜日を卜し我社の主催で形勝の牡丹臺附近一帶を遊覽地として晝間は素人相撲、日鮮藝妓手踊等の餘興澤山、夜間は平壤名物の觀火會及び數十番の仕掛花火、打揚花火。翌五日は舊五のお節句にて朝鮮側では婿選び嫁選びの黃道吉日一年に一度の大賑合です

特典

◇六月三日（土曜）午後十一時南大門驛發
◇往復汽車賃三圓五十錢（仁川四圓）

朝鮮鐵道局では我社今回の計畫に贊同せられ、特に最も低廉なる賃金にて三日より六日迄の使用期限ある往復切符を發賣し往途は臨時列車、歸りは期間內勝手に列車の撰擇を許されました 然うして切符は六月一日から南大門、龍山、仁川の三驛から發賣され五枚以上は電話（南大門驛）で御申込あれば直に配達します

臨時列車運轉

●支那見物 行李から屍體 床の中で喫驚

衆議院議員 清釜太郎氏談

革命黨の方は如何かといふと之れも亦た相應に酷い事をする、此間日本の鳳陽丸が漢口を出帆せうとする際一名の支那人が驅け付けて、自分の友人が直ぐ乘船するから一寸此荷物を積んで置いて吳れと一個の大行李を渡して行つた、船では其れを眞に受け首を長くして待つてゐたが如何した事か一向還つて來ない

▽漸く不審を起 して當局の立會を求め件の行李を開いて見ると其中には朱に染つた屍骸が這入つてゐた殺した者も殺されたものも共に同地の革命黨員だつた事が後で判つたさうだが斯んなのは隨所に演ぜられてゐないのだから堪らぬ、其れから漢口に行つた時翌朝目を醒ますと間も無くドーンと凄しい音がして宿の隣子が飛び硝が倒れた此地は相當に治安が保たれてゐた筈だつたに、かういふ事では大變だと思つて慄ひ上つたが、其れは

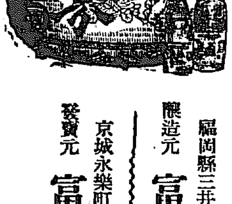
▽漢口日報の樓上 で火藥が爆發したのだと判つてヤット安堵した、漢口日報は革命黨の新聞で同社の二階は黨員の集會所となつてゐる、當日も此處で一味の者が爆裂彈を取り扱つてゐたのが誤つて爆發したのだ相だ何しろ火藥の智識に乏しいものが無暗と之れを捻くるのだから全く以て危險千萬、愚圖々々してゐると如何な災難を蒙るかわからない、却說廣東でも此程革命黨の集會があつた、此處には

▽レモアイランド と呼ぶ島があつて東京でいふと丁度中州の樣な處だが集會の際此地の茶屋で穩和派の男を五六人許り殺害したさうだ、自分は其翌日此處に著いた、廣東の獨立は將軍龍濟光の名に依つて宣言せられたのだが、實は革命派に迫られて止む無く獨立したので龍は革命黨とは殆んど關係がない、其れで今は廣東から約一里半を距てた觀音山に立て籠つてゐる、處が

▽革命黨の方でも 廣東に這入ると危險の虞れがある爲め之れまた十里許りを離れた肇慶に集り岑春煊を總裁として政府を組織してゐる、自分は船に乘つて觀音山に出掛け龍濟光と面會した『同將軍は第一革命以來一萬數千人を殺戮した男で今は左樣でも無いが初めは目に一丁字なく人が名刺を出すと倒に讀むだものだ（つゞく）

●豫約募集員 採用
空前絶後の名著、賣れ行き羽が生ゑて飛ぶが如し。報酬沼山提供、月收數百圓確實。見本進呈。東京本郷區大學正門前 國民タイムス社

優等清酒



釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

◎本年四月一日付を以て『タングステン』及び水鉛鑛業出願の各位に對し會社創立の趣意書其他御送付致候處若し不著の向も有之候は、乍御手數其旨京城本町二丁目事務所へ御申込被下度此段廣告候也
朝鮮鑛山株式會社創立事務所

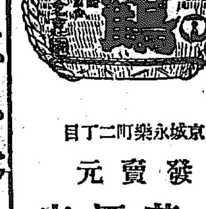
◎丈夫で穿き具合よき龜田製の靴を御召し下さい
●御注文は足袋文數又は紙に足の周圍を畫き送る事
●營業品目錄寸法用紙御報次第送呈
一金四圓五拾錢 編上靴
一金五圓八拾錢 深ゴム靴
一金七圓五拾錢
●一枚革深ゴム靴は金五拾錢値增
東京市芝區愛宕下町 龜田靴店 電話芝二〇三 振東京四二七八

德用 絹紬洋傘 一割引
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 五八一番 振替貯金口座京城八二四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

池田季雄 イゲダ小兒病內科醫院
京城三越吳服店前（入る旭町四丁目 電話（醫院）一三三四番 （自宅）八八〇番

優等清酒



京城永樂町二丁目
發賣元 本莊酒店 電話京城 六五四番 振替 五二〇番

男の生殖器病
生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不完全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉效に驚くべく知名博士も其實效を證明し實驗諸氏の賛辭が如しハガキで申込あれ圖入說明書無代密送す直接來社者には院部にて懇切に說明す
▲高評益高きを竊み大阪に偽物有警戒せよ
東京神田かぢ町五 電話神田七三三番
東京 眞空療法研究所

…結果其の費用に窮し同人…
なる者の所有に係る石油發動機を自己の所有物なりと欺き之れを抵當物として熊本市大橋某より金百五十圓…て滿洲へ高飛びして各地を徘徊したる後本年一月に京城に入り込み旭町某商會の店員に住み込み居る內十圓餘りを横領して此程平壤に逃げ行き…

…草刈…で據き斃り即死せしめたる事件にて二十九日平壤地方法院にて公判の結果無期懲役を言渡されたり

…羅紗外套一枚（八圓）を窃取したるを手初めに外五箇所にて靴、時計、財布等を窃取し此程鍾路署に檢擧せられたり

…龍山…町松永某方外兩三箇所にて賭博をなし金之助は懲役六箇…

…の四名は本年一月以降數回…

◎西大門小學生の 嬉しい遠足

「西大門小學校の尋常科一二年生二百餘名は卅一日の朝から昌德宮の動物園に遠足しました

「動物園では三匹の仔を有つたライオンが大人氣で猶ほらくだ、かば、象、お猿さんなども非常に生徒の興味を惹きました

「また池の中に鵞鳥が居たのは修身のおはなしにある實物敎育であつたので何れも熱心に先生のおはなしを聽いて居りました

「ことに池の實物敎育などは鳥渡大人には考へもつかぬ事柄でございます

「お午に靑葉かげでめい〳〵のお辨當を開いた時はこれも大さうなよろこびでありました、生徒は野外で御飯をたべるのを非常によろこぶやうでございます

「植物園では本館のバナ、などが珍らしかつたやうでした、一同は午後三時過ぎ學校にかへりました

◎齲齒に注意せよ

「日の出小學校の齲齒檢査」

「日の出小學校では二三日前から全校生徒の齲齒の檢査を行ひました

「檢査の結果は完全な齒を有つた生徒が一組六十名中約五六名あとは皆齲齒を有つたものばかりでした

「學校では豫て齒の衞生に就いてやかましく言つて居りますが何うも內地人の子供には齲齒が多い相です

「古來長壽を保つた人は何うも一樣に健全な齒を有つた人でありますから家庭の人は子供によく注意しなければなりません

●奧樣方の家庭料理

▲一□滿一年の卒業生□▼

一昨年東京の赤堀割烹所長が南山の女學校でお料理の講習を試みましてから以來京城婦人界の割烹趣味はいよ〳〵盛んとなつて參りましたが其後本町通高木ロシヤ物產商會の靑木初子氏の宅で赤堀分敎場の家庭料理研究會が出來て居ます敎授法は一年四季おり〳〵の季節ものを使つて一年間に卒業することゝなつて居ますが目下服部、三好、佐々木の諸令夫人や工藤、西田、星野夫人などの熱心な研究家もおいでになります、また針本はつ子氏は滿一年の課程を卒業し谷梅子田中なな子早川みさ子の三令孃は四月中に第一期生を卒業されました、殊に工藤ドクトル夫人の如きは只今では病院の食糧一切を夫人獨りで擔當され大變良好な成績をあげてゐられます

●日本一のピアニスト

東京音樂學校の演奏會は五月廿八日の午後から上野公園で催された出演者は同校の卒業生や敎授連であつたが就中過般米國から歸つた小倉末子孃のピアノは非常な喝采を博して居つたその妙技に韻律を解して奏つたのは實に申分がなかつた孃の非凡な手腕は洋行中の練習の完全であつた事を證據立てゝ居る、小倉末子孃が本邦一流のピアニストであると云ふ事は云ふ丈け野暮な話であらう此外のプログラムには樂隊やオルガンに合せた三部合唱や合奏があつたが之も好人氣であつた、午後はまたベツオールド夫人の獨唱があつたが勝れたものであつた（外字新聞の批評）

新歸朝の閨秀ピアニスト小倉すゑ子孃は去る五月二十八日上野の音樂會で非常な人氣を博しました

女史は伯林に三年留學し市加古では一時同市の高等音樂學校の敎師をつとめて居ました

●補習夜學校新設 南大門小學校にて

府內南大門小學校にては小學校卒業後商店又は官廳の給仕等に勤務する少年たちの爲めに此六月一日から補習夜學校を新設することとなりました、敎授課目は修身國語、算術の三課目によりいろ〳〵敎授法に斟酌を加へて親切に取扱ふの事ですから一般少年たちの爲めに幸福なことであります 月謝は一箇月二十錢

●柴崎校長の旅行 京城中學校長柴崎鐵吉氏は目下慶尚北道地方の學事視察中來る十一日頃歸京のはず

◎成田校長の旅行 京城高等女學校長成田忠良氏は北陸及び東北地方の學事視察の爲め三十一日南大門發內地へ向はれました

□新工夫の夏襦袢□

涼しい夏襦袢の裁方は、用布四尺八寸で身頃を三尺さり前身になる方を三寸長く折り肩の所をあげます。殘りの一尺八寸を縦に二つに切り一方を袖に今一つの切れを衿と脇になつなく紐にいたします。縫方は脇縫ひなしで袖で前身後身をつなぎ合せ、衿をつけます。前も前と後を三寸適ひに折つて縫ひつけ、袖下を縫ひ合せず離して置きますこれは、風が肌によく通つて夏向きの肌襦袢には適當です

婦人界消息

△芳賀軍醫總監夫人（總督府醫院長）院長閣下と共に五月上旬より上京中のところ卅一日夜南大門着の列車で歸京されました

△渡邊とみ子孃（高等法院長令孃）久しく內地九州地方旅行中のところ一日夜南大門着の急行列車で歸られます

△西崎くみ子夫人（南部西崎鶴郎氏夫人）病氣にて總督府醫院入院中のところ漸次輕快に赴かれました

神社と教會とお寺

▲南山大神宮 六月一日は男女厄拂の參詣者で朝からお祭りが行はれました

▲西本願寺（永樂町） 一日午後八時より執行

▲本能寺（藝水洞） 二日午後二時と八時より月並二の日說敎あり

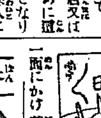
—△會いろ〳〵▽—

▲鹿兒島縣人會 三日午後六時より永樂町淸華亭に於て開催餘興として薩摩琵琶の彈奏あり會費一圓五十錢

▲中學校テニス會 三日土曜日の午後から校庭にて開催

▲池坊生活會 三日四日の兩日南山本願寺にて生け込みは一日二日より

だいどころ その日〳〵



△あぶたま 油揚を二つに割かし細く切つて熱湯をかけだしを加へてよく煮砂糖少々と醬油を加へて甘からく煮玉子をよく溶き上へ一面にかけ落蓋をして煮丼へ盛て供します

番茶のあと

▲一日の夜はパゴダ公園で李王職音樂隊の演奏會があります▲日本や朝鮮の實況を立派な活動寫眞に撮影する米人ニウマン氏夫妻と新聞記者アーチャーベル氏は一日夜朝鮮ホテルに著きます

瓜哇、スマトラ、ボルネオ、セレベス

十三年間南洋に在りし──竹井十郎氏談

◇一口に南洋と云つても廣い洋上に點在する大小幾百の島嶼を總稱するのでありますから其の島々により色々な相違もあります澤山な人種の別もあります

◇殊にスマトラ島にはニアスとかバタツク人の如き恐ろしい食人種も居りますが先づパプア族とマレー族の二つに大別することが出來るやうです

◇南洋の大きな諸島嶼は今日主として和蘭の領土となつて居ます─彼のスマトラでも瓜哇でもセレベスでもボルネオでも……

◇併し和蘭政府は此の無限の寶庫を有しながら一向富源を開發しようともせずまた何等の施設も試みませぬからだん〳〵と其の勢力を失墜して行くやうです

◇またこれ等の島々では假令和蘭人名義の商館でも其の背後には獨逸人が黑幕となつて居りましたが這回の戰亂の爲め獨人は總て英佛人の壓迫を被けて居ります

◇また南洋の支那人は此の四月から歐米人や日本人同樣の待遇を受けることゝなりました、中には資本金數千萬圓を有つたスマラレの建源號といふ支那商館もあります

◇今日蘭領の南洋一番にゐる支那人は其數總て七百五十萬人內瓜哇のみにても三百五十萬人以上居ります、然るに日本人はと見れば全體で僅々千二三百人に過ぎませぬ

◇世人は瓜哇と云へば赤道直下の焦熱地獄のやうに思ひますが平均氣溫は八十五度最高と雖も九十五度位、殊に一萬尺以上の高さが多いので思つた程ではありませぬ

◇南洋は實に各種の原料品に富むだ世界の寶庫であります、獨逸は戰爭の今日猶ほ少量づゝの鍵印ビールを送つて戰後の飛躍にそなへて居ます、日本人たるもの奮起しなくてはなりませぬ

商況

東京株式特電

一日	前場寄付	大引
日本郵船	二〇四、〇〇	二〇六、〇〇
京城電氣	—	—
鐘淵紡績	一七二、三〇	一七二、一〇
同新株	一四九、六〇	一四九、六〇
日本參同	—	—
東株舊	—	—
東株新	—	—
東新舊	—	—
東新新二	—	—

債券現物特電

三十日川來値段（前日との比較）
東洋拓殖 六六、〇〇
京城電氣 —
朝鮮銀行 一四九、五〇
朝鮮瓦斯 —
南滿鐵道 —

東京公債直取引特電

卅一日川來値段（前日との比較）
五分特別 九七、一〇
五分利 —
一回四分 八二、六〇
二回四分 八一、五〇
甲五分 九六、九〇

深川在米特電

一日現在高
朝鮮米 八四、六三〇
臺灣米 六一、五六〇
內地米 二二七、〇四〇

東京期米特電

一日前場	第一節	後場
八月限	一五、二七	—

大阪期米特電

	一日前場
寄付	一五、二七
高値	一五、三一
安値	一五、一八
止め	一五、三〇

大阪株式特電

一日前場	
當限寄付	一四、九四
中限寄付	一五、二七
先限寄付	一五、六七
止め	—

大阪三品特電

銘柄	前場引	後場止	一日第一節
郵宇川水	四〇、〇	—	—
市戸電鐵	四三、〇	—	四八、九〇
京阪電鐵	四二、〇	—	—
和歌山紡	三五、〇	—	—
合同紡績	三〇、〇	—	七七、〇〇
鐘淵紡	四〇、〇	—	一七〇、〇〇
同上新	二三、〇	—	一四〇、〇〇
東洋紡績	三五、〇	—	—
大阪商船	四〇、〇	—	三〇、〇〇
日本郵船	四三、〇	—	二〇四、五〇
大阪米穀	四〇、〇	—	—
東京新株	三五、〇	—	二〇八、〇〇
大阪株式	四〇、〇	—	二一二、〇〇

下關期米特電

一日前場	寄付	大引
六月限	一三、一〇	一三、九〇
七月限	一三、八〇	一三、七〇
八月限	一三、五〇	一三、四〇
九月限	一三、〇〇	一三、〇〇
十月限	一三、九〇	一三、八〇
十一月限	一四、三〇	一四、三〇

朝鮮物產特電

一日前場	中限	先限
寄付	一三、五二	一四、三五
高値	一三、五五	一四、三三
安値	一三、二一	一四、二九
止め	一三、八六	一四、二七

銘柄	寄付	
馬山改玄	二、五〇	鎭南浦大豆
群山改玄	—	群山大豆
釜山改玄	—	慶山大豆
木浦改玄	—	浦項改大
同改玄	—	元山荒大
仁川改玄	—	城津大豆
釜山上白	—	長淵大豆
釜山中白	—	仁川小豆
釜山白	—	宜川大豆
仁川上白	—	平壤大豆
仁川中白	—	群山大豆
仁川白下	—	木浦大豆

雜報

●銑鐵類依然强硬 過般釜石輸送其他二三の騰貴物ありたる以來は未だ何等特別の材料なく後來高値保合の變化也而して例年ならば此時期は不需要期に移り行き所なることとて漸次市價歎弱の兆も見え難き所なるも今年は船腹關係上等ご補入杜絕せる如き有様なるも一方內地も頗る…

●塗料類の昨今 …各種の商調孤々にして更に定まらず其手持の有無如何に依りては可なり高値を唱ふる向きもあれば一方には思はしからぬ方面は頗りに下げつゝある向きもあり目下何分…

●初秋に一沸騰 …

●群山の現在米 …五日頃までは約八萬石を唱へられたる群山の在米は地方の問屋少なきたるもの多く此爲め現下の在米高として約六萬石に過ぎざるべしとの豫想なり…

●兎角品薄 ●在荷僅少

●燐寸益々不勢 …

●三十一圓 手放さん場合れば三十一圓

●粉米引弛む

●安の見當り 約一二三十錢

●米餅愈終了

●明太魚產地高 極上二十一圓次品十九圓處

●鹽鯖弗々入荷

●元山物 山物 …

下關相場

▲朝鮮白米も狂はず …

仁川現物市場

▲朝入港五十俵 …

釜山穀物市場 三十一日

▲正米（不味）本邦期米も相變らず…
▲大豆 …
大豆 一千二百七十三俵
玄米 一千二百二十五俵
總出來高 四十八俵

生魚市場

昨日來荷少く…

南大門の廻穀

鳥山玄米 五一俵	金穀 玄米 一六一俵
鳥山中玄米 一九俵	汶山穀 一九九俵
鳥山白米 一〇九俵	水原白米 一一七俵
金穀白米 二〇七俵	天安白米 五六俵

京城正米

依然小甘き閑散…

各地商況

○大邱 三十一日の物穀…

三巳仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三三二番

品名	相場
朝鮮一等白米	十三圓四十錢
同	十三圓三十五錢
同 富用	十三圓六十錢
同二等白米 富用	十三圓四十五錢
同	十三圓二十錢
慶山大豆	十四圓二十錢
元山大豆 中上品	十四圓二十錢
同大玉	十四圓九十五錢
端川摺替大豆	十四圓八十錢

臨時電報

…接したる人氣已に落付…

市場零聞

▲發會爆發す 大阪…

▲中限爆發す …

▲取引所細則變更 …

▲格下範圍擴張 …

▲範圍擴張に就き …

仁川期米

▲六月一日前場 …

大阪跡暴騰に受け漸次四十八錢と爆發

大阪七十九錢と押し…

田中金兵衛 仁川期米仲買人 電話二二八番

仁川米豆取引所

一日の八月限

前場	
寄付	十三圓三十一錢
高値	十三圓五十四錢
安値	十三圓五十錢
止め	十三圓四十錢
出來高	四萬八千五石

平均値段	
一節	十三圓四十三錢
二節	十三圓五十錢
三節	十三圓五十一錢
四節	十三圓五十二錢
五節	十三圓五十一錢

賣買取組高

限月	取組高	前日と比較
六月限	四千六百石	
七月限	三萬七千九百五十石	
八月限	一二三三五	一二五高
三十一日後場	一二七〇高	

空袋十枚で良煙が無料で喫める

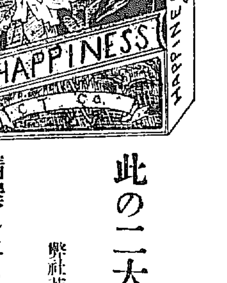
未曾有の新煙「初日」現る

□空袋引換開始

●口付「初日」両切「萬福」の空袋十枚御持參の各位には當分の間現物壹個宛を進呈致します

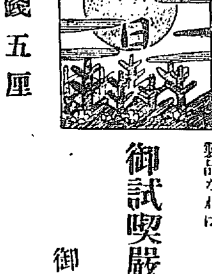
●引換場所 は左記販賣店にて取扱はせますから精々御持參の程を願ます

●引換區域 京城及龍山



此の二大新煙は弊社苦心の結晶にして精撰したる銘葉を原料としたる製品なれば御試喫嚴密なる御比較を冀ふ

二十本入 金五錢



金二錢五厘

▲初日 空袋拾枚に付 實物壹個

▲萬福 空袋拾枚に付 實物壹個

□引換場所

南大門市場	金東健商店
旭町三丁目	松根商店
本町三丁目	渡邊商店
壽町二丁目	岩田商店
黄金町四丁目	川上商店
東大門市場	金斗興商店
鍾路三丁目	朴容鎭商店
義州通二丁目	森商店
漢江通二丁目	池田商店
岡崎町	大陸商店
旭町一丁目	石川商店
明治町一丁目	坩堝屋
本町三丁目	後藤商店
黄金町二丁目	梅崎商店
太平通二丁目	石泰煥商店
鍾路二丁目	崔君三商店
同 一丁目	金炳基商店
義州通二丁目	李允植商店
漢江通二丁目	瀧田商店
元町二丁目	大里商店

天下無敵の新煙「萬福（ハッピー）」票出づ

▶朝鮮煙草株式會社 代理店 板倉京城支店 京城南大門通五 電話二七一番◀

京城測候所

京城測候所（一日正午）
氣溫 最高 六十九度三分
最低 二十度七分

日出	午前五時十八分
日入	午後七時四十六分

宮本武藏

第五十六回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

三月三日内裏に於て鷄合せ、貴賤老若我も我もと拜見に出る、處が大内では坊主を忌む、坊主でなくとも髪の毛の短かい者はお厭ひになるから拜見に出る事が出來ない、幵で工風する者があつて髪を冠つて拜見に出る、之は宜い思付だ、態々毛を生やすといつては大變だが髪なら烏帽冠りさへすればいゝ、其れで皆な髪を冠つて往きます、内裏守護の役人が見てア、髪だなと思つても咎め立はしない、之は形式だから其で通して了ふ、吉岡治太夫は先年髪を剃つて坊主になつて居るから矢張髪を借りて之を冠つて拜見に出ました、お雞合せに源平の勝負といふ事がある白い雞と赤い雞とを合せる見て居て面白いもの、吉岡治太夫何氣なく拜見して居ります、スルと前回申上げた浦邊藤藏といふ奴、之れが板倉の家來となつて見廻り役を勸めて居りました、鐵棒を持つて歩行いて來ると、どうも吉岡に能く似た人物が居る、ハテ治太夫ではないかと思つてヒョイと顔を覗く途端に吉岡が顔を擡げた、見ると案に違はず吉岡治太夫だから浦邊藤藏大いに喜こんだ、豫ての恨を晴らすは此時と心得たから突然傍らに近付くと吉岡の頭へ手を懸けてグイと上に持上げた、大髪だからスポーリ脱れると坊主頭がヌッと出た、アッといつて振向く所を

藤『異形の者ッ』と一聲叫んで鐵の棒を振上げて眉間を目懸けて打下ろす眞向に受けては堪らんから體を轉じたが、轉じ損つて右の額を打割られ鮮血サッと迸ばしる

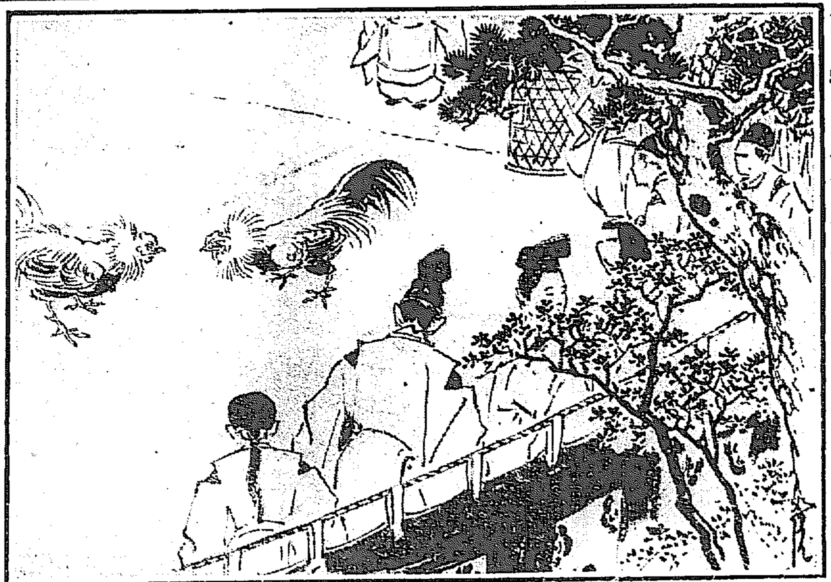
治『ヤア汝は浦邊藤藏だな、何故あつて拙者の眉間を……』

藤『默れ〱異形の者、各々お出合下さい、異形の者が出ましてござる、お出合下さい〱』と高聲に呼ばつたから見廻りの役人、十五六人バラ〱と走り來つて押取巻く、吉岡治太夫大音に

治『決して怪しい者ではござらん、拙者は吉岡治太夫拳房と申すもの、怪しい者ではござらぬ』といふを浦邊が

藤『エイ曲者』と鐵の棒を持つて打込んで來る、體を開いて治太夫藤藏の手許に付入り、拳を固めて利腕を打つたから鐵の棒を取落す

藏『己レッ』といつて藤藏が腰なる一刀を引拔いて切込んで來る、心得たりと體を開いて右になし



の一刀を奪ひ取るとスパーリ切り付けた、背を返して打つ積りが手が狂つて及の方で打下したから堪らない浦邊藤藏の左りの肩先から乳の下懸けて割付けたアッと一聲血烟り立つて打倒れる『ソレ逃すな』と八方から棒を持つて打込んで來る、吉岡治太夫ハッと氣が付いたサア大變大内に於て劍戟を振ひ人を切つて見れば大罪人、此上は致方がない一先此場を切拔けて自宅に馳歸り、妻子と離別して心静かに生害しようと考へましたから近付く役人を右往左往に切拂つてバラ〱バラと一方を蹴破つて表門の方へ飛で行く、見物は右往左往に散亂する、禁中は時ならぬ雞場と變じた、所司代板倉伊賀守勝重之を見て

勝『誰かある彼者を逃してはならん取押へろ、手に餘らば切捨てゝも苦しからず、禁中を騒がしたる大罪人、猶豫して取逃すな』と下知を傳へる、言葉の下より村雨八右衛門九尺柄の槍の鞘を外してバラ〱バラと追駈けて來て、今吉岡治太夫が築地へ手を懸けて乘越さうとする所を後ろからヤッと一聲操出した、槍を取つては板倉の家中に鬼神の聞ゑを取つたる村雨八右衛門、操出したる槍先は電光の如く、吉岡治太夫が脇腹へブッーリ千段巻の隱るまで突込んだ、流石の治太夫先生急所の痛傷にアッと一聲眞逆様に築地から落ちる、槍を引拔いて八右衛門駈寄つて見ればモウ息が絶れたる様子、依つて此事を伊賀守に申上げる、勝重も禁中を騒がしたる曲者切捨ても宜いと下知した位ゐだから村雨に咎めはない却つて賞した位ゐなる、さて妻女の芳江は是事を聞いて七才になる又三郎を連れ、泉州堺の豪家紺家利右衛門の許へ來て斯々いふ次第だと一伍一什の話をいたしました

皮徽科
皮膚病 徽毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元泥峴）
佐藤醫院
（電話一一七三番）

歯科専門 大正歯科醫院
京城南米倉町朝市場通り
電話取次七一六番

明治町フランス敷合右トナリ 岡村介石

六月三日九星
舊五月三日 辛未
木命 二黒 坤 滿 先勝

▲二黒● 取越苦勞の事有日新事見合 其力は吉勝 ▲三碧● 取損じの事有日新事控 萬事は ▲四緑● 不得貸の事有日 新事手控 ▲五黄● 萬事は吉婦人と交渉 ▲六白● 配合よき日轉居旅行入學名弘求 ▲七赤● 豊滿の日轉居開業入門名弘求職 ▲八白● 間のぬけた事有日新事手控 萬事は吉女難 ▲九紫● 大願成就の日轉居開業 ▲一白● 眼煉のたちぬ事有日 新事手控 萬事機嫌は好

演藝案内

黄金館
電話二六三七
黄金町四丁目
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
六月一日より新派悲劇うきよ鏡 ●新派悲劇うきよ鏡 全一卷 ●泰西探偵劇ゴールデン・ハイナ ●泰分手網 重の井子別れ

浪花館
明治町
電話二六〇番
今晩の讀物 二人探偵（湖之助）△湖田主水（如月）△水戸黄門記（兎月）△金鷄勸

眞田大助
▲史劇
前編後編全十卷續き二百七十八場
「前編」は幼年時代より諸國漫遊九度山閑居大阪入城助勢まで
「後編」は難波戰記後日の譚江戸下り薩摩落ちより鹿兒島内まで
忠臣藏以上の大寫眞

大正館
封切特別大寫眞
▼尾上松之助奮闘劇
日活會社が當館の發展を祝し特に新撮影せる封切り大寫眞提供

御成座
御成町
電話二九一
市川海老松阪東鶴一座
二日
前狂言 根蒲刀箱崎文箱 五冊
切狂言 給本太功記 一場

大正館
櫻井町
電話八七三
六月一日より特別大興行
●探偵大活劇黒冠組 全三卷六千尺
●史劇眞田大助漫遊記

壽座
本町
電話五七八
六月一日開演

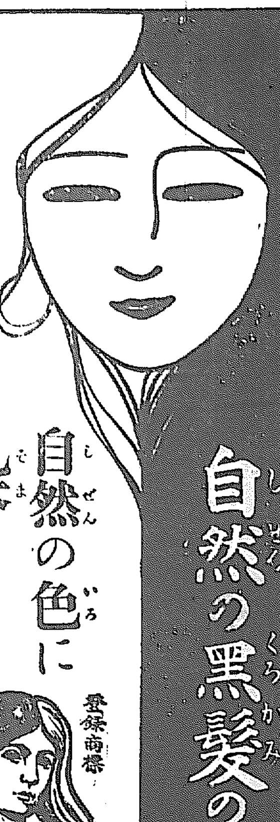
各眼病院眼科醫指定眼鏡調製
眼鏡專門
▲定價表を發行致居り候
▲眼鏡一式に關する御照會を歡迎す
金銀赤金各種 張銅 レンズ
京城黄金町二丁目
振替京城一二三九
宮川大學堂
製作販賣

朝起は身の藥！
朝疾く起きて
ライオン齒磨で
口を滌め、齒を磨き、
深呼吸をした時の
心持は日本一！
それでこそ齒の守、
氣の保養、身の藥！

ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舖 小林富次郎

（一二一）

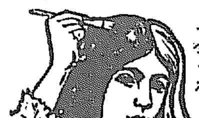
完全シラガ染



態とらしき染方をやめられよ!!
自然の黒髪の色艶に染められよ!!

二十分で染る

自然の色に染るナイス



白毛赤毛染
ナイス

五大特長
■タッタ二十分で染る、
■染色漆黒艶美、
■襟枕に汚染せず、
■一度染て永く保ち、
■用法最も手輕便利、

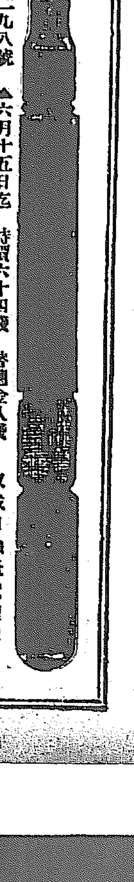
價 大瓶七十錢 小瓶四十錢 男子用三十錢

發賣 大阪 東京 丹平商會藥房
全國ノ粧化品小物問屋ニアリ

ナイス

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇〇番

タイヨー
萬年毛筆



新案特許三六二九八號
▲六月十五日迄 特價六十四錢 替穗金八錢
京城日報社代理部

京城日報
第三版
二日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 合資會社 京城日報社 太平通一丁目
印刷人 小川三之介

副産業振興策

京城日報

今日農民の爲めに說くもの、當主として其副産業を奬勵すべきことを云はざるものなし。蓋し農業は其收益甚だ薄きのみならず、一種二種の耕作に專らなるときは、風水害其他の災厄一たび至るときは、其全産業を喪失せざるべからず。是れ副産業を奬勵して、其の自全の計を保たしむとする所以なり。

併しながら副産業の發達は、第一に其勞力の豊富なるを要し、第二に組合組織發達し、當業者共同相助の實を擧ぐるを要し、第三に其産物の運搬配給の便を全くするを要す。以上三要件を具備して、此に初めて副産業の發達を確保[illegible]べきなり。就中組合組織は[illegible]達の主要件ともいふべく、[illegible]備不備は、以て其業務の運命を決するに足る。英國政府及び學者有力者の、英國農民の窮乏を救治するの計を求むるに急なるや、これが爲めに種々の方法手段を取り、其調査研究を重ぬると久し。而して其の産業不振の主要原因は、産業組合同業組合の發達せざるにあることを發見し、爾來切りに之を奬勵するも、其進捗意の如くならず。蓋し英吉利は個人主義を尙び、且甚だ保守的にして、他人の言を聽いて自己の舊習故慣を改むるを爲さず。組合組織の興らざるは則ちこれが爲めにして、農民が其穀物を鐵道にて輸送せむとするに當りて、家々人々其時其擲所を異にして、之を要求する爲め、鐵道會社の迷惑一方ならず。是れ英國鐵道が海外より輸送さる穀物は、大口にして且規則正しく輸送し來る爲めに、運賃を割引し、及び特別運送法を取るも、内地の穀物には却て何等の便宜をも與ふる能はざる所以にして、英國の農業が海外輸入穀物の爲めに壓倒せらるゝの理由も、亦此に存す。又倫敦其他都市にて消費する卵にして、最も新らしく且其品質善きは、巴爾幹の羅馬尼亞より輸入し來れるものなり。近年英國人養鷄其他の畜産業を興すに力むるも、何分にも家々人々孤行獨歩を好み、共同一致の行動を取らざる爲め、折角卵を産ましむるも、其品目を整へ、其輸送配給を敏捷且正確にする能はずして、空しく輸入品の爲めに其地位を讓るといふ有樣なり。若し此の如き類例を求めば、僕を更ふるも盡すべからず。之に對して佛蘭西白耳義露西亞獨逸塽洪國等の農家の、副産業の發達進歩せしは、全く其産業組合同業組合の組織甚だ整ひ、其の行務亦健全なるに是れ由る。本來農業は、家々人々小資本小仕掛を以て、之を營むもの、其産物は則ち原料若は食用品にして大分量的産物たらざるべからず。是れ其の組合組織に待つこと甚だ大なる所以なり。特に副産物といへば家々人々に就て之を見れば、么微にして云ふに足らざるものを集成して、大分量的産物たらしめざるべからず。して、吾人が副産業奬勵政策を說くもの、先づ其組合組織より工夫を用ゐざるべからずと主張するの理由亦此に存せり。

佛人サ氏の美擧
日本成金の僞善

小松翰長談

公益とか公德とかいふ問題になると、さすが歐米人の氣概には感服せざるを得ぬのである。故サルタレル氏の美擧も其の一つであらう。吾輩が此の間『成金の說』を京城日報に發表してから、種々の意見を聞くが、大倉男や鎮南浦の中村氏の如き人々を九天の上に稱揚した事には大分反對者がある樣である。併し吾輩の答辯は極く簡短で濟む。善人が善い事をしたら奇特でないが、惡い奴が善い事をしたとすれば、猶更之を激賞するがよい。斯すると初めは僞善でやつたことも、不知不識の間に今度は誠心誠意でやる樣になる。之に反して僞善だなど、罵倒すると、却つて自棄自棄になつて眞善は愚か僞善さへもやらなくなる。妍しんば本統の僞善でも、眞惡よりは遙か優である。少しでも世道人心の向上を圖るには眞惡を責むるよりは僞善を賞める方が捷徑である。僞善でも眞善として賞めると、おだてに乘つて眞善を行ふ樣になるのが人情である。是れ則ち吾輩が大倉男や中村兄弟を稱揚する所以であるが、併し吾輩は世人の曲解又は誤認するが如く、彼等の善事を以て僞善とは信じないのである。吾輩が大倉や中村を賞るのは彼等の御馳走にでも中毒したのではないかなど、冗談にもせよ怪しからぬ事をいふ人がある。大倉には一面識もないから論外である。中村の弟の方は十年來の舊友であるが、餘り御馳走をせぬ男である。せぬどころか、先頃杉山茂丸が來た時に其の子分といふ關係から中村兄弟を一處に此方から御馳走をして彼等の美擧を激賞してやつた。此等の連中に酒を飲まして賞てやるのが、吾輩の道樂だ。尤も浪花節の名人を引立てゝやるのと道樂の意味に於て違ひはないのである。

日本の成金を賞めると種々の苦情も出やうが西洋人が日本の慈善事業に寄附をしたことを推奬したからとて何人も邪推をする餘地はなからうと思ふ。佛國人サルタレル氏が臨終の際に昌城鑛山から來る每年の收益中自分の取前十分の三を内地と朝鮮との慈善事業に永久に寄附した事は誠に感服の外はない。サルタレル氏は元來我が日本に少からぬ同情を懷きたる人である。公使館員をして居つたこともあり、中々の學者で殊に地學には造詣も深く、之に關する多數の書物を藏して居つたから、其の生前に二萬圓の基金と共に朝鮮の地學協會（新設することゝして）に寄附しようと申込んだけれども、其の條件が餘り六ケ敷いので、當方より斷つたことがあつたが、今回其の死に臨んで自分の收入の三割を鑛山の存續する間寄附することにしたのは、常人の出來ぬ業で、頗る賞揚すべき美擧である。彼は片々たる一歐吏、一學究より每年少くとも十三四萬圓の純益を得る人となつたのだから、彼れも亦所謂成金であらう。吾輩は内外人を問はず、斯の如き成金の群出するのを望むものである。成金にして悉く公益に貢獻すること、其の生前と死後とに論なくサルタレル氏の如くならしめば、成金といふ稱呼は、必ず名譽光榮の符牒となる時代がくるであらう。其れがホントの黄金時代である。石器時代、鐵器時代も早や過ぎた今日、人間の品性が向上するのも當然ではあるまいか。東洋人は何時も西洋人の後塵を拜してばかり居てはならぬ。彼等をして敬服せしむるほどの快擧に出づる心掛が肝腎である。サルタレル氏の美擧を見て感心な樣な、羞かしい樣な、なんだか妙な氣持がせぬ人は朝鮮に幾人あらうか。

三道隨行記

中島生

十五 公州の半日

○公州は忠南の都、邑は三面を丘陵に圍まれ、一面は錦江に臨み、其の外廓には連山重疊し、要害の地たり。昔百濟は此地に都を置き、唐は都督府を置き、高麗及び李朝は節度使又は觀察使を置き、四方を制したりしが、險阻の爲め交通不便に、從て、往時商業的發展の見るべきもの少かりき、今日にては道路の改修完く、北は天安東は鳥致院芙江、西は洪州南は論山方面との交通至便となり、商業も漸次殷盛に向へり、人口は内地人千六百、朝鮮人一萬千なり。

○十四日は總督巡視最後の日なり。午前七時より總督は道廳に於て洽ねく内鮮官民に接し、面長、共進會受賞者、兩班儒生有力者に對しては、特に最も懇切なる訓示を與へ、其より憲兵隊本部、實業協會、監獄恩賜産業傳習所、面事務所、醫院、郡廳公立小學校、農業學校、種苗場等を巡視したり。

○實業協會は實業に關係する兩班の組織に係り、資本は一萬圓、共同出資とし、現在四千三百五十圓を拂込み、道は每年七百五十圓の補助金を支給し、公州特産的織物を製出する目的にて大正二年八月以來養蠶機業を鮮人婦女子に傳習せしめ、傳習者は皆既婚者にて成績良く、苧布と稱する絹苧交織物を、只今にては年に三千疋を生産すと云ふ。本來傳習を目的とし、組合維持の爲めに營利的に産物を販賣せり

○監獄は建築もまだ新らしく、設備は淸潔なり。多數の囚徒手工に忙はしく女囚は柿色の獄衣の機織裁縫など自作自給に使はれ居れり。

○公州の邑は摺鉢の底の如く、山にて圍まれ居れど、樹木多く正に新綠の好期、何とやらん内地の甲府に遊ぶ心地せらる。

露國食糧政策（二）

イウオエ、ウレミヤ所載

千九百一年より同十年に至る十年間の平均一「テシヤーナ」よりの收穫を示せば左の如し但しプードを單位とす

	小麥	裸麥	大麥	燕麥
露	三八	四七	五一	四八
奧	八五	八二	九〇	七三
獨	一三七	一一〇	一二七	一三三
英	一四九	一四五	一二七	一二八
白	一九七		一七九	一六一

愼重に此數字を眺むるときは露國は開明國の最も後れたるものなるを見るならん、吾人は每年一テシヤーナ每に獨逸に比し百ブード、白耳義に比し百二十ブード、小麥の收穫に於て劣るの一事は我國民の基本的職業即ち農業に於て吾人の悲むべき劣敗を暗るものたらずむばあらず。尙ほ一層恐るべき我農業の不幸なる情態は收穫の不安固なる點なりとす。此事たる文化の度高きものは氣候上の變化に打勝つを得べきも、其卑くきものは之に打勝つを得ざればなり。獨逸に於ては最近十五年間の平均に於て小麥收穫の變動は二割減より一割四步一厘增の間に在るも、露國に於ては同時期に於て四割九步三厘增より三割九步七厘減の間に在るものとす、加ふるに最豐饒なる我收穫（一九零九年）デシヤチーナに於ける五十四プードは獨逸に於ける最凶作（一九零一年）の殆ど半額なりとす、此最凶年に於てすら獨人は兎に角一デシヤチーナより一百六プードを産出するを得たり、此事たる我地は殆んど想像だに爲し能はざる處なり、而して地質に就て論ずれば我國は世界に於ける最優等の黑土なるに比し獨逸の薄瘠なる土地は勿論比較するに足らざるなり、多き語る此等の數字の意義を熟考するときは何人も我鄰國を侵略的戰爭に誘ひたる强奪的慾望の裏面の動機を察知するを得るならん。樂觀者は縱令我農業劣等なりとするも漸次進步しつゝありとし自ら慰む所あるも前記會議の報告之を否認せり、曰く「農業の狀態は改良せられつゝありや、收穫の安定は加はりつゝありや、收穫高は增加しつゝありやとの問題に對しては統計上の材料に依り其然らざるを答へざるを得ず、露國の農家經濟は少數の模範的に設置せられたる者の外全く天然の力に任すものなり、廣野の大半地は既に全く放棄せらる」と、現在地に於て集約的經濟を發展することを爲さずして國民は地味の荒れざる新しき土地を搜索する爲に數千ウヨルスの遠隔地に移住す。報告書に曰く「移住は莫大なる多數農民の經濟的困難を解決する手段として政府の今日迄最も好みたる、又最も保護したるものとす。政府は困難なる地位より脫せんとして新地の搜索に從事する農民の背後より進みて其前に出ることとなし。

日報俳壇

雄于郎選

桑摘

桑摘や古るに任せて風車小屋　東　村
桑を摘む其處に大鐘や鷄林寺　同
桑摘める母に提灯竊し居る　山　民
桑摘みてそぼ降る夜道戻り兎　同
客去りて廢き二階や遠蛙　同
商荷下して牛も疲れぬ夕蛙　豆　村

大阪期米特電（一日）

▲後場動かず

▲現物界

商業登記公告

株式會社第一銀行ハ大正五年五月貳拾五日北海道根室國根室郡根室町大字花咲町壹丁目拾參番地ノ支店ヲ廢止シタリ

朝鮮畜産株式會社取締役織居加一ハ大正五年五月貳拾參日其ノ住所ヲ京城府本町五丁目貳拾參番地ニ移轉シタリ

合資會社大陸社淸算人趙鏞緖ハ大正五年五月拾六日解任セラレ同日京城府雲泥洞六拾七番地李琮夏淸算人ニ就任シタリ

右大正五年五月貳拾九日登記

京城地方法院

石炭購買入札 六月十四日入札

詳細五月二十九日官報二十七日朝鮮總督府官報ニアリ

第十師團經理部

鹿兒島縣人に告ぐ

在京龍鹿兒島人會を開く多數奮て御出席を乞ふ

一日時 三日午後六時
一會場 永樂町二丁目淸華亭
一會費 壹圓五拾錢當日御持參
申込 櫻井町池上醫院 電話一二七一番へ

北海道産

海産穀物 輸出商

小樽港町本通

大杉商店

尺八音譜 澤山著荷

東京尺八講習會發行

詳細目錄は電話及葉書にて御申越次第御報知可申上候

地方よりの御注文にて貳冊以上の節は特に送料は弊店にて負擔可致候

京城本町二丁目

巖松堂書店

電話一一六六番 振替二四五四番

解雇廣告

京城府南大門通一丁目拾一番地

李基演 二十三歲

右の者不都合有之解雇致候に付爾後一切關係無之候間此段廣告候也

京城水標町五十番地

京春自働車商會

松田壽男

移轉廣告

今般業務擴張の爲左記へ移轉致候

京城府瑞麟洞卅一番地（鍾路巡査派出所横入る）

大菱商行

重石買入所 下村泰造

電話（長）八六番 電略（ダイ）

移轉廣告

今般舊治療所狹隘の爲左記に移轉仕り尙從前通り診療に從事可仕候間此段御披露申上候謹言

京城南山町三丁目十三番地（舊治療所前巴城舘隣）

橋本齒科醫院

電話二九二番

齒科醫學士 橋本淸次郎

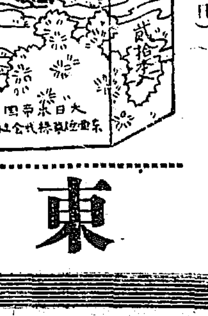
外觀の類似に欺かれざらん事を

外見のみにては「眞の良煙」に非ず

三煙の賣行き飛ぶが如きを見て外觀のみ眞似たる類似品を企つる者あり

然れども下記三煙の品質に至つては決して模造される程安ツぽき品にあらず

（朝日）



（百圓票）

（しらぎ）

飲んで良いのが「眞の良煙なり」

東亞煙草株式會社

獨軍必死の奮闘

巴里公報に曰く獨軍の新なる攻撃は特に目立ちたりミューズ西方の砲戰更に激烈の度を加へ薄暮モルトムこキュミエールの間に於ける戰闘は最も猛烈を極めしが敵は之に續いてその方面の我陣地全部に對し强襲を加へ新に到着せる一箇師團も之に參加せり我が新陣地を構へたるモルトムの東方阪路に對する攻撃は總て我が砲火に依りて撃破されたり而して更に東方カウレット森林に於て獨軍は非常の損害を蒙りつゝ攻撃せるが我軍は前進線をベタンクーロ、キュミエール道路の南方に退却せしむるの餘儀なきに至れり而も敵は我軍をキューミエールの郊外より驅逐すること能はず砲撃は深夜に渉り依然として續けらる、ミューズ河東方に於てはドーモン堡塁以西に激烈なる砲戰行はれたり(巴里電報)

土軍露の前進を阻止

ヴァンダッツの周圍にて激戰繼續され土軍は此處にてモスルベの露軍の前進を阻止せんこ全力を注ぎつゝあり露軍にして若しモルスを占領せばメソポタミヤ方面の戰局は之を以て終りを告ぐべし土軍が如何に藻掻けばとて其の結果は數個大隊及び三、四千人のクルード人を以て抵抗を試むるに止まり露軍の爲容易に撃破せらる可きは疑を容れず(露都電報)

鋼鐵工場 米下院設立承認

華盛頓來電に依れば米國下院は官營鋼鐵工場の設立を承認せり豫算は一千百萬弗なり倚航公費は三百五十萬弗に增加せられ新造すべき潜航艇の數は五十隻なりと(紐育電報)

日本號發刊 倫敦タイムス

倫敦タイムスは六月三日日本號を發刊する筈なるが同號には大隈伯の英國に與ふるの書及び加藤男、金子子、高田男等が日英同盟の緊要缺ぐ可からざる所以を力說せる論文を掲げある筈なりと(倫敦電報)

米國軍撤退通牒

華盛頓來電に曰く米國々務省はカランザ將軍より米國軍が未だ墨國の地帶に滯在しつゝある事並に米國軍の撤退を要求せる通牒に接せり(紐育電報)

羊毛輸出禁止解除

英國は日本への羊毛の輸出禁止を解除したり(倫敦電報)

選擧法調査會官制

衆議院議員選擧法改正調査會官制は内務省に於て作成中也しが愈々完成を告げたるを以て一兩日中に法制局に回附し遲くも六月中旬迄には發表の運に至るべしと而して右委員は内務、司法、法制局關係官衙より十三名貴衆兩院議員中より各十一名宛都合三十五名にして議院側は各派按分比例を以て員數を定むるに至る可く六月中に第一回會議を開き九月中に調査終了の豫定なりと(東京特電)

貿易益々好調

大藏省の調査に係る五月下旬の對外貿易は輸出三千三百七十萬六千圓輸入二千三百七十七萬二千圓にして差引九百九十三萬四千圓の輸出超過を示せり尚一月以降の累計は輸出三億八千三百五十一萬一千圓輸入三億九百五十五萬三千圓にして移出超過額七千三百九十五萬八千圓なり(東京特電)

日獨戰役論功

大正三、四年戰役の功に依り横須賀鎮守府、同海兵團、同防備隊、海軍砲術學校、水雷學校、機關學校、經理學校、南洋群島防備隊、大湊要港部所屬員二千二百六十名に對し一日其々行賞の御沙汰ありたり(東京特電)

露亞銀行增資 新株一千萬留募集

露亞銀行は千九百十四年五月二十一日(新曆六月三日)開催せる臨時株主總會の決議及び本年四月一日附大藏大臣の增資(四千五百萬留を五千五百萬留に)認可書に依り額面百八十七留五拾哥の新株五萬三千三百三十三株株式額面一千萬留を左の條件にて募集したり

(一)新株券の發行價格は各二百六十留とし内百八十七留五十哥は株式資本に六十二留七十八哥は積立金資本に九留七十二哥の中新株券印刷費用及び印紙税等を控除したるものを本期に於ける新舊株配當金の平均準備金に充當す

(二)新株五萬三千三百三十三株は本期より舊株券と同一額の配當を受くべきものとす

(三)本行の株券、或は露清銀行の發起人證所持者は本行定款第四條により前者にありては其の四分の三後者にありては其の四分の一の割合にて株券又は發起人證所持數に準じ新株に應募するの特權を有するものとす即ち本行株券六株毎に新株一株露清銀行發起人證四通毎に新株十一株を申込み得べきものとす

(四)本行の株券或は露清銀行の發起人證所持者にして新株に應募するの希望を有する者は本年五月十八日(新曆同月三十一日)迄に所有の株券或は發起人證を左記取扱場所に提示し券面又は證書面に新株應募濟の證印を受くべし

(五)本行の株主及び露清銀行の發起人證所持者にして本年五月十八日迄に右の手續きを怠りたる時は棄權したるものと認め該棄權による新株券は右期間内に於ける申込に準じ一般應募者間に之れを配分すべきものとす本株券の申込は本店(ペトログラード市ネーフスキー通六十二號)及び東露國各支店に於て取扱ふ外國支店に於て右申込みを受けたるときは之れを取次ぎ其の旨を直ちに本店に申達すべきものとす

(六)本行株主及び露清銀行發起人證所持者は申込と同時に一株に付二百六十留を卽時に拂込むべきものとす

(七)剩餘株券の申込みを希望する本行株主及び一般剩餘株券の申込希望者は本年五月十八日迄に保證金こして一株に付發行價格の半額に相當する金額を添附し第五項指定の場所宛て特に申込書を提出すべし其の割當方法は剩餘の株券數に準ずるものにして割當株數決定の上は本行より通告書受領後三日以内に不足金額を追加拂込むべきものとす

朝鮮産金激增 前年より百萬圓增加

朝鮮全道の産金界は採掘許可鑛區の增加鑛業熱旺盛等の理由により年初以來非常の好況にて四月中朝鮮銀行本支店の地金買入高は二十一貫八百餘匁其の金額九十一萬七千六百圓なるが一月以降の累計は九十貫二百餘匁金額三百四十六萬六千六百圓にして前年同月に比し量に於て二十貫餘金額百零二萬餘圓を增加せりと尙移出高は八十九貫六百匁三百四十四萬三千圓に上れりと

大阪の財界

▲織物界益々不振 二月を…
ざるより一層難澁の狀態に陷り居り而して右關係品の不活潑なるは就…
上賣崩しをなせるにより遂に大阪市場の一角崩落を見之れが波動全國…
一割五分乃至三割遠州物二割以上の同樣下落を現はし同織物は本月未頃…
▲日糖增資決定 大日本精糖株式會社は現在千二百萬圓の資本金を…
なる基礎を固むる爲め精糖工場を長江沿岸の浦口に建設する費用に充つ…
んが爲め一箇月間に一週間內外の操業をなしつゝあるが一方に於ては安…
し居れりと…暴落し前途益々低落す可き傾向なるより當業者は前途に對し全く悲觀…
を四十萬圓にて東和公司は久原の日本汽船より新造船第二大阪丸(重量五千噸)を百五十萬圓にて又神戸棧…

通信收入狀況

朝鮮に於ける四月中の通信收入は卅九萬四千百九十八圓にして之れを前年の四十一萬四千五百七十九圓に比すれば約二萬圓の減少となり居れど同月中の收入となるべき全道警備電話使用料及び警察電話維持料四萬一千六百餘圓を同月中の受入れとせざりし爲めにて之れを加ふれば結局二萬餘圓の增加を示し新年度に入り狀況稍良好なりと

牛皮界の好況 (朝鮮) 銀塊暴騰こ支那皮の打撃

從來支那牛皮は歐洲開戰前まで品質良好なるものを總て獨逸方面に仕向け劣等品を本邦向輸出に充つるの例なりしが故に內地皮革界に於て支那皮と云へば品質劣等のものと定まり自然優良なる鮮皮にのみ注目し買附ゐたる譯なりしに歐洲戰亂の爆發後支那皮の對獨輸出杜絶こ共に其輸出狀況に一變化を來し本邦へも品質優良のものを輸出するに至れる結果軍需品の原皮として漸次支那皮の需要を增加し來れる傾向あり爲めに牛皮界の大勢は寧ろ支那皮により左右せられ鮮皮は市價伸惱みの苦境に陷り入りし次第なるが偶ま前月來銀塊相場の暴騰を告げ支那皮の內地輸出に大打撃を蒙れる結果內地皮革商は京城より平壤に亙りて盛んに牛皮の買附けを行ひ地場貿易商亦之れに刺激せられて對抗買ひを爲し最近內外の買注文一時に增加したるも五月中旬以來牛皮は出廻り期を過ぎ而して品物も多からざる折柄とて京仁市況は比較的好氣配を示しつゝありと

故サ氏の美擧

故佛國人ビー、エム、サルタレル氏は曾て平安北道昌城郡に於て鑛山の許可を受け同國人ロンドン氏をして之れが採掘經營を爲さしめ同人に其利益を折半し居たるにサルタレル氏は客年三月遂に本國にて死去せり然るに氏は從來日本に對して深き好意を有し居たりし事とて臨終の際前記鑛山より受けたる自己の收得の三割を日本の慈善事業に寄附したき希望を述べ之が實行を駐佛帝國大使に讓りたるより大使は同人の沒後其相續人たる實姉エム、イーディー、サルタレル嬢と協議の上亡サルタレル氏生前の意向遂行方を寺内總督に依賴し來れり依つて總督府にては數次彼我交涉の結果、右の寄附期間は大正四年以降昌城鑛山鑛業權の存續する期間全部とし、寄附金は日本及び朝鮮に於ける慈善救貧、並に教育的事業に使用す可く其使用方法を總督府に依賴して以て博愛的財團を作ることゝなり取り敢へず大正四年即ち第一回分として約四萬圓を總督の手許に送り越したる由にて總督府に於ては財團の組織其他に關し目下種々詮議中なり此の如きは此種の事業家中稀に見るの慈善家と謂ふ可し而して總督はサ氏の好意を諒とし之が記念として近日書面と共に朝鮮特産品を寄贈す可しと

司直縱談 法官歷訪錄

▲事件は皆簡單 岡本成興地方法院長

▲余が平壤より此地に轉せしは本年三月の事にて其後間も無く東上し更に今回出京せる次第なれば未だ任地の事情を審にする能はず、隨つて玆には語る可き何等の材料を有せざるも

▲管内の事件は民事と刑事を問はず追年增加の趨勢に在り這は地方民が漸次司法の公明を覺知し來れると共にまた警務機關の活動に俟つところ甚多し、行政上より見れば寧ろ喜ぶ可き現象なり、然れども管内は御承知通りの僻地とて南鮮地方に比すれば人文の發達には尙ほ多大の軒輊あり

▲殊に國境地方に於ける人民の如きは今尙ほ物々交換を事とし貨幣の價値すら認め得ざるものあり、一鮮人川魚を獲たるに日本人を見てそを買ひ取られむことを恐れ忽ち驅け去りたりといふ笑話あり、刑事は姑く措き民事に就いて見るも前任地たる平壤地方に比すれば事件は何れも簡單にて合議裁判の如きも亦た甚だ鮮少なり、余は常に人文の發達は殖産興業の振作に負ふ所極めて大にして、殖産興業の進展は運輸交通の便否如何に俟たざる可からざるを思へり

▲管内の如きも成鏡縱斷線の實現を得て淸會、京元兩鐵道と連絡し、又永興、若くは北靑より惠山鎮に至る鐵道の敷設を見るに至らば地方の進展發達思ひ半に過ぐるものあらむ、聞が如くんば後者は未だ其の具體的計畫なきも前者は旣に當局の測量を了れりといふ余は此計畫が目下那邊まで進行し居れるやは知らざれど本線は軍事上より見るも亦極めて重要の意義を有す可きを以て之れが實現は恐らく既定の事實にて殘るは唯だ時機の問題たるべく余は管內一般の人士と共に鶴首其機の速ならむことを祈るものなり。

古海總長歸京

大阪に出向中なりし古海財務總長は既報の如く一日午後九時南大門驛著列車にて歸京したり

四月中日露電報 日露間

發著電報四月分の統計を聞くに朝鮮露國間は發信八百七十七通著信五百二十五通にして內地露國間は發信五十百通著信四千八百七十七通を算し更に又滿洲露西亞間は發信百八十通著信百四十八通合計發信六千零六十七通著信五千五百三十六通にして一日平均約四百通に當り前年に比し發信に於て十二割著信に於て十割の增加なりと

忠北ミ自動車

豫て忠北自動車運輸組合にて出願中なりし淸州米院間自動車運轉は今回當局の指令に接したれば六月上旬より每日定期一回往復の定期運轉を開始すべきが同線は重石にて知られたる槐山郡青川面に通ずる道路なれば此等鑛業家の享くる利便大なるべく倘鳥致院西原某の出願中なりし淸州鳥致院間淸州忠州間荷物自動車運轉も旣に許可濟となりたれば是亦近く開業の運びとなるべく忠北の交通愈々全たしと云ふべし(淸州)

京畿道現住者業務別

最近調査せる所を聞くに左の如し

▲工業及鑛業 內地人三千二百八十五戶(一萬一千〇四十七人) 朝鮮人六千八百五十五戶(三萬二千二百六十八人)
▲農業及牧畜林業 內地人一萬〇二十戶(一萬五千八十六人) 朝鮮人廿三萬三千四百三十一戶(百十七萬四千八百六十六人)
▲漁業及製鹽業 內地人二千〇二十戶(八千五百六十人) 朝鮮人三千二百十戶(一萬四千八百九十五人)
▲商業及交通業 內地人五千六百八十二戶(一萬九千八百四十九人) 朝鮮人三萬一千四百八十四戶(十四萬八千五百二十一人)
▲公務及自由業 內地人八千六百七十九戶(三萬一千三百廿九人) 朝鮮人六千三百二十戶(三萬〇七百十五人)
▲其他の有業者 內地人三千二百十九戶(一萬四千八百廿八人) 朝鮮人二萬四千百〇七戶(十一萬八千百廿二人)

人蔘耕作者褒賞式

旣報の如く總督府專賣課開城出張所にては一日午後一時同所に於て第六回人蔘耕作者並に同雇傭人の褒賞授與式を舉行したり當日は總督府より荒井度支部長官並に平井專賣課長を始め朝鮮の來賓五十餘名にて盛況を呈し式は富家出張所長の開會の辭に始まり荒井長官は左記の二十一名に對し褒狀並に目錄を授與し更に御大典の際總督より奉獻したる紅蔘の原料耕作者なる中田市五郎孔聖學の兩氏に對し總督よりの感謝狀及び木盃等を傳達する所あり終つて懇切なる告辭を與へたり、之に對し來賓こして劉元杓、受賞者を代表して孫鳳祥氏等の祝辭及び答辭ありて式を閉ぢ別室にて茶菓の饗を爲し三時散會したり受賞者氏名左の如し

▲定植蔘圃耕作者 一等賞 孫鳳祥、孔聖學、金鼎鎬 二等賞 朴宇鉉、金得炯、李祖一 三等賞 金貞永、林頭文 四等賞 木村男次郎、金基炯、玉在中、李昌熙、孫宗彦、崔錫原、朴性根、黃桂順
▲耕作雇傭人 一等賞 金顯賀 二等賞 中尹嘉 三等賞 金學伊、朴榮默、劉基郞

西水羅局新設

遞信局にては咸北の露境に接せる西水羅に郵便局を新設する事となり目下準備中なるが多分六月一日より開局すべしと

井、堀江兩氏歸京

株主總會列席の爲め東上中なりし井上東拓理事及び堀江文書課長は豫報の如く一日午後九時南大門驛著列車にて歸京したり因に昨夕刊三十一日夜歸京と記せしは誤り

全北輕鐵割引變更

全北輕鐵にては六月一日より左の如く割引規程を變更實施する筈なり但し學生は遠近に拘はらず五割引とす
(八哩以上十八哩以下四人以上四十人未滿二割、四十人以上六十人未滿二割五分、六十人以上八十人未滿三割、八十人以上百人未滿三割五分、百人以上四割)

人事消息

▲高野省三氏(三井物産支店長) 往復四日間の豫定を以て一日出城を經て新義州へ出張
▲秋場格太郎氏(光州地方法院檢事正) 入京中の處五月三十一日朝退京
▲米倉清族氏(工學博士) 滯京中の處一日夜退京
▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭) 入京
▲木村雄次氏(木浦商業會議所會頭) 一日夜入京中の處五月三十一日夜退京 京山本旅館へ
▲赤木誠氏(平北第二部長) 二日夜入京の豫定

南言北語

ウイルソン大統領はよしんば獨逸が媾和の嘆願をして來ても鳥渡引き受けぬ姿だと云つて來たかと思ふと▲今度は交戰國に共意がなくとも進んで平和促進の運動でもやらうと云ふ勢だと云つて來る▲病氣で啞になつた筈の袁總統が賴りにして居た馮國璋が云ふ事を聞かねば倪嗣冲と張勳に命じて叩き潰すぞと云つて居る▲イヤ斯う世の中が總て宙返り計りになつちや飛う頓とスミスの宙返も珍らしくなくなつた▲其處も此處も斯う宙返り計りではやり切れない▲米國や支那に角兵衛獅子を輸出したら大持てだらう▲袁總統の病氣と云へば北京邊では死去の風說迄が頗る傳つたので彼の樣な電報が來た譯だ▲病氣は病氣に相違ないが神經衰弱だと云ふ▲四川の陳宧が退職勸告の電報をよこしたので總統が非常に立腹して居る處へ江西將軍李純が警備費を要求して來た▲此奴てつきり貴州廣西の二の舞をやるに相違ないと對應策に頭を痛め▲其れや之れやで連日連夜の疲勞の爲だ▲馮國璋を怨み出しなのも其所爲であらうが南方では手を叩いて喜んで居る事だらう危ない〳〵▲近著のナショナル、レビュウにルート氏がウキルソン大統領の對墨外交を批難した大演說が載つて居る▲某氏が之れを評して曰くウエルタが袁總統、カランザが孫黃、ウキルソン氏が大隈伯の見立てだとは頗る面白い▲佰林の雜誌が筆を揃へて戰時經濟の一として婦人の長きスカートを禁止した陸軍省に猛烈に喰て懸つた處が陸軍省の答辯が振るつて居る▲國亡びんとす、今や總ての男子は戰場にあり、怖らく御心配御無用▲とは能く出來たり

臺灣植民發達史

臺灣總督府民政長官 下村宏 序
農學士 東鄕實氏 早稻田政學士 佐藤四郎氏 共著 最新刊
菊判總クロース上製四百八十餘頁 定價金一圓八十錢 送料十八錢

殖民地統治上の羅針盤!!!

帝國の臺灣統治は、最近植民史上特筆大書すべき好蹟を擧げたり、本書は卽ち過去廿年間に於ける此光輝ある殖民的大發展の徑路こ統治上の施設こを最も遺憾なく評說し。而かも著者は新進の植民學者として世既に定評あるのみならず、多年臺灣に於て實務に從事せるの人、從つて政治、經濟、産業の各方面に涉り論議雄大、叙事明晰、調査精確、研究緻密、眞に近時の名著たり。今や臺灣の前途益々多望にして、南洋熱帶經營の急務ならんとするの秋に方り、一度本書を繙かんか座ながらにして、南方植民地の實情に精通するを得べく、故に實務家は勿論、世の研究家、教育家、實業家並に經世家に對し敢て一讀を薦む

大賣捌所 京城本町一丁目 大阪屋號 振替口座京城二五七三 電話六八四・二〇八六

大陸婦人界

お待ち兼の六月號出づ……(殖民地婦人雜誌界の女王大陸婦人界) 賣切れとならぬうちに御購讀あれ ●三、四、五月號は賣切れの大好評!

婦人の戒むべき點……牧山耕藏
▽在鮮婦人の覺醒を促す……早大教授 永井柳太郎
▽女と高等教育……東京女子高師校長 中川謙二郎
▽この覺悟が欲しい……日本女子大學校長 成瀨仁藏
▽新婚の若夫婦……京城婦人病院長 工藤武城
▽子福者の私……宇都宮總督府技師夫人 きく子
▽健康法と衛生法……醫學博士 森安連吉
新時代の賢母良妻主義
古い女と新しい女
情と犯罪
子供の賞め方と叱り方
東洋の女と西洋の女
臺灣お土産
京城高等女學校先生評判記
奇緣
家庭料理
一人娘として父親の心
△大隈伯の家庭
△男と女との貞操
△女流俳家列傳
△私の歌の用語
▲編輯局より

購讀申込所 京城太平通 大陸婦人界社

銷夏の友 ◎キリン印◎

▼サイダー ▼シトロン

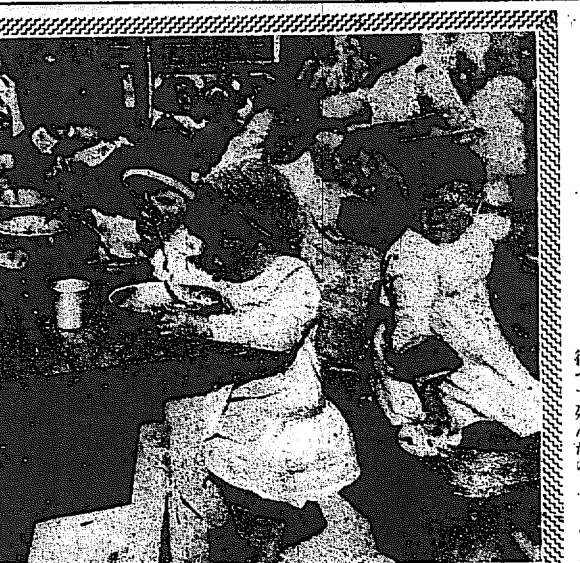
▼召上て涼味を招き ▼飲んで心氣爽快

製造元 京城櫻井町(大正館前) 日の出商會 電話二三四八番

氷 朝鮮製氷社京城販賣部 山下磯吉

……ないから且つ大物仕込みも時季柄……早く事況の成行を豫測すること能は……業家の生產增加のため稍兇れを我……す折柄二三有力商店にて金融の關係……勢躰物は三割五歩水浮物は二割乃至……三割の低落となり絹織物は尾濟物は……不況を見んやも知れずと……に活氣を呈せざれば今後更に一層の……消費地たる……に向つて製品の……販路を擴張すると共に根本的に有利……し安全業者も只職工の離散を防遏せ……二割百八十圓を超へ……七百圓のもの二百圓……新六百圓内外なりしもの百五十圓……近……易會社にては阿波共同汽船……の第十五共同丸（……噸）……船舶の契約成立したり（大阪支局より）

□セルビヤの孤兒　＝お父さんは戰さに行つて死んだの＝



◉生蕃物語

奇異なる首祭りの儀式　蕃社擧つて賑かな舞踏

タイヤル族の崇拜する神はオツトフと呼ぶ宇宙の創造者

土地調査局調理課長　工藤壯平氏談

首狩團が其の目的地に達すると一同の者は拔刀して一齊に之れを地上に置く、其の時指揮官は草を取り天に向つて咒文を唱へて左右に振る振り終れば一同の者は順次に其の草を握る、これは成功の祈願の式である、其の後土人を發見すると包圍して之れを斬倒すのであるが其の狀況は餘りに殘忍であるから茲に御話する事は避ける、斃て首を取ると其の附近の川に行つて其の血を洗ひ落し

□頭蓋骨を破つて

中から腦漿を全部出して終つた上で辮髮を取り首は芋の葉に包んで其れを網の背負袋に容れて歸る蕃社まで歸著すると一行はウエー〱と高聲に勝鬨を揚げるさうすると蕃社の人々は總出に爲つて之れを迎へ先づ新たに竹の柵を拵へ首祭りを行ふのであるが奇異なる儀式は實に此の首祭であつて取つて來た首の口の中に芋と豚の肉とを詰込み其の前に粟で餅等を供へ招魂式を行ふ

□頭目は首の前に

立て招魂の辭を高唱するのであるが其の辭なるものが實に怪からぬ「汝に芋と豚とを喰はしむ汝の父母兄弟も共に茲に來つて樂しく暮せ」と云ふのである招魂の辭が濟むとそれから一同夜を徹して痛飮歌舞して遊び翌日になると其の首を頭目の家又は集會所の首棚に納めるのである此の際新しい首は多くある首の眞中に据ゑ古い首は左右の方へ寄せるのである

□首を首棚に納め

るとそれから二三日乃至五六日間位蕃社中擧つて舞踏などして騒ぐと云ふ習慣がある、斯の如き獰猛なる蠻族の間にも亦彼等の信ずる神はあり之れに對して強い信仰が有る今異なる三四の種族に就て彼等の神に對する念を述べて見ると先づタイヤル族の崇拜する神と云ふのは永遠の太古から此の天地の間には聲も形も無い偉大なる力を持つて居る神樣が有り其の名をオツトフと稱へて居る之のオツトフは宇宙萬有の創造者である彼等の信ずる所に依ると人と神とは餘程近寄つたもので人間の身體は神の一部分であると考へて居る大なる

□オツトフの分身

であると信じて居る、故に人が生れる事をタミニユン、オツトフと云ふ此の言葉は神が世間に形を顯はして活動を始めたと云ふ意である又人の死する事をタマシク、タミニユン、オツトフと云ふ之れは神が世間的の活動を止めたと云ふ意味であるさうだ又祖先の靈をマラホウオツトフと呼び靈魂の不滅を確く信じて居る人が死ぬと其の肉體は土に歸るが魂は西方遙かなる

□靈の世界に飛び

去るが其處には前々から死んだ多くの人々の魂が集合して居つて其處に行けば先祖にも逢へるし父母の魂にも逢へるものと信じて居る併し乍ら變死した人の魂は先祖の魂の居る天國には行かれず其の魂魄は蕃社の中に留まつて人に禍殃するものと信じ變死人の有つた場所は避けて通らない家に變死人があると家族は其の家を捨てゝ他の新らしい家に引移る如うな事もある又

□龜殼蛇と云ふ蛇

には人の死靈が移つて居るものと考へ之れを見ると必ず打殺して後其の蛇の頭の處へ煙草を一と撮み置いて「後は、墓場でお目に懸かゝりませう」と云つて立ち去る、また燐火の飛ぶことをベーニヤツク、オツトフと呼び之れを見た者は遠からず死ぬものと信じて居る。

◉金鑛を襲ひし大賊捕はる

五月十六日午前二時頃平南平原郡公平面退上里張應植所有の砂金鑛採鑛場に七名の強盗押かけ三名の番人を荒繩にて縛し布團を被せ置き採掘したる金土を強奪し逃走したるが其筋の嚴探の結果犯人の内宋相贊（三）金得賢（三九）金利造（三）の三名は捕縛されたるも殘りの四名は行衛不明なりと

◉會計主任の公金費消

第八高等學校（名古屋）會計主任山本浦一郎（五）は米相場に手を出し公金三萬圓を費消せる事發覺し拘引されたり（大阪電話）

◉良夫を崖下に突き落す

京畿道長湍郡長南面元堂里黃龍周（一九）の妻池姓女（三）は豫て同里の李善協と相通じ龍周は眼病の爲め盲目同樣なるより姦夫婦は遂に五月二十二日午後二時頃漣川郡積城面舟月里に至る江汀津の渡船場より約一丁餘上流なる臨津江の右岸の崖上に龍周を連れ行き池姓は小刀を以て本夫の前頸部に斬りつけ龍周は大聲に救ひを絕叫したるを以て兩名は遂に龍周を崖下なる急流中に突き墜して溺死せしめたること發覺し加害者は鮮なく高浪憲兵派遣所の手に取押へられ目下嚴重取調中

□開け放しにして外出してはいけない＝戸締りを嚴重にせよ

是れから小泥棒の世の中

青葉に涼しい風がそよぐ夏の季節になると何處の家でもお留守居役の婦人が開け放しにして外出する、殊に晩餐後など家族を伴れて散策に出掛ける事が多い、斯う云ふ空明きになつてゐる

▽居宅を附け覘ふ

のは鼠賊で夏は小泥棒が一番跋扈する時季である、從つて是れがため意外の災難を蒙る事がある、此の小泥棒は主として民籍も住所もない乞食の鮮童が最も多い、京城では地方から流れ込むで來る保護者もない憫れむべき垢だらけの鮮童等が家々の塵埃箱を漁つて廻り殘飯や果物類の腐れなどを拾つて食し、夜は南山の松の根や東大門、南大門其他裏小路の塀の下などに轉がつて寢てゐる、或る者は東大門外や西大門外の

▽野つ原に穴居し

てゐるものもある、三四名乃至數名位の團體となり掻つ浚ひと拾ひ食ひとを專門に働いで露命を繋いでゐる、手癖のよくないものは針金で拵へた鈎を携へ塀の外から干物を盗み又は西洋釘を以て戸締を捻ね開け、小刀で穴を穿ち家中の模樣を窺ふ曲者もある中には臺所專門の鮮童もあつて鍋釜は勿論手當り次第に炊事道具を攫つ浚ひ之れを

▽朝鮮人の古物屋

に持つて行つて二錢か三錢位に賣つて買食ひをする、而かも彼等の覘ひ場としては官舍を始め多くは勤め人の家である、交通頻繁な表通りに出て店頭の品物を巧みに掻つ浚ふのもあるが是等は人目が多く取押へらるゝ恐れがあるので多くは裏屋を荒し廻る、警察署でも是等乞食體の鮮童の取締には大に留意し檢擧に勗めゐる爲め

▽年々其數を減少

して居るが、彼等の幾分は京城府の衞生人夫として使用されてゐるのは一つの救濟策である、然るに是とても其數に制限がある爲め尚ほ無職で食ふに困り惡事を働くものが絕ゑない、一面からは勞働的の仕事に從事せず毎日市中を徘徊して盗み食ひ拾ひ食ひを常業のやうにやつてゐるものもある、一般家庭では炊事場、干物、塵埃箱の三點に最も注意して是等鮮童の盗難を防ぐやうにするが可い

◉雷管一萬發を竊取す

栃木縣鹽谷郡藤原村王毛澤鑛山の火藥庫へ去月二十八日夜曲者忍び込みて雷管一萬發及び導火線數尺を盗み逃走したるを二十九日發見し目下矢板署に於て極力曲者の搜索に著手し居れるが未だ縛に就かず（宇都宮）

◉貒溫突に潜む

過般慶北淸道郡大城面院洞元積碩寺跡井戸の附近にて生後三箇月を經ちたる子貒一頭を捕殺したるが同地警察署にては前記の場所にはなほ貒の棲息し居れりとの見込みにて廿八日詳密に搜查したる結果積碩寺跡溫突の煙穴附近に雉の羽毛及び貒の糞の散在せるを見つけ直ちに附近にゐたる確川寺僧及び洞民八名を集め溫突を破壊し中を見たるに果せるかな貒穴中にこれも生後三箇月位を經ちたる牝子貒を發見したれば洞民が生捕になし目下同地警察署にて飼養し居れりと

□神戸のタゴール氏

神戸北野町三丁目十八番地の四ローサー氏方に於けるタゴール氏は三十日例により三時半起床五時迄瞑想し瞑想終りて庭熱の上にて茶と果物を食し六時半にトースト麵麭と印度茶を飮んでかくて朝餐を終る九時に入浴し正午は純印度料理のオムレツフイツシユハイスビーフ等九皿を食し飲物はレモン及び水などであつた午後二時頃から生田と諏訪山等を見物したり（大阪）

◉鍬で不意打ち

全北井邑憲兵分隊東谷里出張所の憲兵補助員安承柱（三七）が五月二十日午後五時頃春季清潔檢査の爲め井邑郡七寶面三里に出張したる際同里の金元淑（六〇）が激しく反抗したるより嚴しく說諭を加へたるに同人は大に憤怒し携へたる鍬を振翳して不意に同補助員の後頭部を强打し人事不省に陷らしめたるが急報に接し泰仁憲兵分遣所員が駈付け金元淑を逮捕して目下嚴重取調中

◉嫉妬から撲殺

全北扶安郡山內面知西里李贊淑（二五）は五月十九日妾の李姓女が（四〇）酒の買掛代金を取立に行くと稱し外出し二泊して立歸りたるも金を持ち歸らざるより情夫と密會したるものと思ひ憤怒の餘り長さ二尺許りの棒を以て李姓女の全身を亂打し遂に死に至らしめたる爲め其筋に引致さる

◉緣の下に潜む

京畿道廣川郡退村面光東里千大成（四三）五浦面陵谷里金谷里金順男（三〇）龍仁郡雅賢面洞林里陰壽命（三八）の三名は共謀し去る四月十二同夜退村面梧里牛肉商朴春玉方及び陶水里慶安幡淵方の二戶に侵入し携帶の庖丁を示して家人を脅迫し金品二十餘圓を强奪し何れも自宅の緣の下に潜伏しゐたる所を廣州憲兵分遣所の補助員が搜索の結果悉く檢擧したりと

◉猛虎民家を襲ふ

咸南慶源郡行德面古寺洞金秉應は去る十五日夜牝牛一頭、犢二頭都合三頭を自己家屋庭宅に繫ぎ居りたるに一頭の猛虎來襲して三頭共咬み殺したり同地方は昨年まで猛獸の被害有りたるも今年に至りて猛獸の出沒なきため鮮人は喜び居たるに今回斯る被害起りたるを以て一般に警戒を爲し居れりと（清津）

◉下水溝で自殺

京城櫻井町一丁目居大工職大平某の妻うめ（三九）は生活不如意の處から三十一日夜午前三時頃居宅を脫け出で午前五時頃警務總監部門外の下水溝に架り居る橋下に身を潜め携へ來れる氷醋酸約一合計りを飮用して自殺を企て苦悶し居るを通行人が發見し急報に依り係員出張取調べの上夫に引渡したるが生命に異狀なし

◉内地沿岸を荒せる朝鮮の密獵船

對州近海に於て爆發藥を使用し密獵しつゝありし漁船は同地方の取締嚴なるより漸次他に移り山口縣にて密獵しつゝありしが去月廿七日早くも右密獵船五隻は簸川郡北濱沖合に姿を現し盛にダイナマイトを海中に投じて密獵を開始せるを平田分署にて發見し島根縣廳は縣有船八千鉾丸に監視を命じ居たるに右の内二隻の帆船は二十九日簸川郡鵜鷺港に入り船員は上陸して料亭に豪遊中を杵築署の手に逮捕されたるが右は鬱陵島戶高の八百吉所有のものにて船主の戶高は早くも姿を晦したるより目下嚴重搜査中なりとの報あり（門司）

◉贋金を賣る

平南成川郡崇仁面踏仁里鑛夫姜龍泰（三十）は幼年の頃煙管製造職工に從事し金屬類溶解の心得ある所より平北雲山郡古邑面金鑛の鑛夫として働き居る內贋金を作りて一儲せんと思ひ立ち金一匁に銀其他の金屬を混合したる十匁餘の贋金を製し一匁三圓五十錢位にて方々に賣り歩き居たるが此程歸仁里金致擧なる買受者より其の贋物なる事を看破せられ歸仁憲兵派遣所の手に取押へらる

◉線路に多數の石

二十七日午前五時十分第九百二十號南行無煙炭列車が平南貞地洞驛と鎭南浦驛の間を進行中何者の所爲なるか遠方信號機附近の軌上に約四寸徑より一尺徑の石十一個を乘せ妨害を企て居たるを乘務員が發見して進行を停め之を取り除き幸に列車に異狀なく久原製煉所通路切の北方約三十五間の所まで進行せしに此處にも約一才位の石材一個を線路上に橫へありたるを以て再び停車して之を除去したり

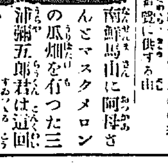
◉强盗

平安南道陽德郡吳江面達峰里孔永隣方へ五月十六日午前二時頃二名の强盗侵入家族を縛り上げ棍棒にて永隣及び永隣の長男を毆打し室內を搜索し現金二圓及び銀指輪其他の物品合計價格三十五圓餘を强奪逃走せり

◉朝煙の新製品初賣　朝鮮煙草株式會社新製品「はつひ」及び「武將吧」の賣出は一日樂隊を先頭に騎馬武者及び數十旗の商旗を押立て市內各販賣店に勸誘したるが品質優秀の爲め頗る好評を博しつゝあり

◉雨森氏醫院開業　雨森氏は從來平安北道昌城、安州金鑛の內科小兒科の囑託醫たりし處子女教育上の關係に依り同地を引揚げ京城に來り今回吉野町元仲の新地跡に於て醫業開始診療に從事する由

◉生花大會開催　末松霧水氏の主催にて來る六月三日四日南山本願寺に於て例年の通り生花大會を開催し一般の觀覽に供する由



南鮮馬山に阿母さんとマスクメロンの瓜畑を有つた三浦彌五郎君は這回愈々瑞西の公使として赴任する▲陸軍大學生を作れて京城を通過した河合陸軍中將は曰く獨逸の强き所以は就學兒童の百分比例九十五を算し且つ出產率の多きに由る此の點に於て日本は百中九十三を唱へ生れるとに於て獨逸を凌ぐは悅ぶべしと▲京都淸水燒の元祖松風嘉田氏は這回慶尙南道の土地をトし一大陶器工場を設立するはづ▲南山公園にては昨今櫻の樹の毛蟲を朝鮮人夫が捕へて居るが南鮮地方ではまつ〱けむしの驅除に大弱り單に慶北のみにても七萬五千圓以上の被害であると▲本町病院線の電車はいよ〱六月下旬に複線工事が竣工する▲南鮮の馬山では廿八日午前十時頃指頭大の雹が降つた▲總督府工務課長坂出鳴海氏は曩に歐洲及び米國に出張を命ぜられ居りしが今回其行を終へ一日午前横濱入港の佐渡丸にて歸朝した▲同氏の歸朝の報に接した土地調查局長鈴木穆氏は廿九日「太洋の波しづかなりつばくらめ」「春燕に集る村の故宿かな」の二句を無線電信にて坂出氏宛打電した▲然すると折返し坂出氏から「みにしみて嬉し故鄕の初便り明日はみるらん東海の富士」と返電し來りた▲坂出氏は途中二三用務を辨じた上來る十日頃歸任の豫定であると

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

◉都々逸題「日傘」

○松は靑々白濱並木日傘連れ立つ磯歸り（一等）　全北全州大和町　岡崎小潮

△燃ゆる思ひを日傘に包み知らぬ振りして行く戀路　江波　彩雲居士

△憎くや日傘でかくした顏を見ては燕の後返り　平壤　兎糸子

△辭が見下ろしや見上げる首袖橋のたもとの日傘連　珍島邑內　さかし

△對の給日傘より似た姿こちが妹やら妹やら　京城　長谷川うつゝ

△日傘くれれば柳がなびく〱綠から散る雫　龍山　春子

題	〆切	發表
川柳「笛」	一日	四日
物は付「涼しいものは」	同二日	同五日
一口噺「朝鮮に因めるもの」	同三日	同六日
謎々「支那の戰爭」	同四日	同七日
ヘメ繪	同五日	同八日
狂歌「撫木」	同六日	同九日

次回俗謠「蚤」

諸官衙御用　鑛山用具　鐵道用具　建築金物　特に鑛山機械用具は弊所の獨得製作とする所なり
京城府漢江通六番地　製作所　尾谷寛造　電話四百六番

日韓書房　新版報告
中川靜著　信書精鑒　上下卷　定價一圓八十錢　送料十四錢
矢野征記雄著　シヨウペンハウエルの研究　定價一圓八十錢　送料十二錢
夏目漱石著　金剛草　定價一圓三十錢　送料十二錢
岡本米藏著　牛　第廿一版　定價一圓　送料十錢
日置默仙著　無一物處　定價一圓　送料六錢
京城本町二丁目　電話一四五・二三七番　朝鮮振替口座一一五番

製氷開始
◉病院御用達
京城漢江通　朝鮮製氷社　長電話五二二番
◉衞生的經濟的冷藏函及冷氷　販賣仕候

▲見よ六月號出づ（第百七號）　一部廿五錢　半ヶ年一圓五十錢　一ヶ年三圓
朝鮮及滿洲

◉古海總務長の人物……ヒヤラヤ
支那に於ける經濟勢力……勝田總裁
東京よりの名士印象記……山人
鐵道國際運輸會議……安藤參事
支那問題と政府の態度……杉田定一
對支管見……內田良平
營林廠と植林事業……齋藤廠長
列强殖民政策の變革期……松岡博士
鮮人同化と新忠君愛國主義……澤柳博士
內地農民の困憊と鮮移住……紫安代議士
日鮮人の併合教育に就て……小松原氏
滿蒙の農業政策……渡邊農學士
歐洲戰と將來の戰爭……京野大佐
國境と對露支關係……水間警務部長
英國の徵兵制度……和田貴族院議員
戰爭と獨逸の化學工業……中尾理學士
滿洲石炭事業の將來……鈴木理學士
加里原料としての海藻利用……水野生
◉客と朝鮮及滿洲の經綸を語る……釋尾旭邦
兩貴族院議員の時局談……可水生
田中參謀次長を訪ふ……萬二千峰
スミス君と語る……萬二千峰
物集博士の養生論……一記者
▲成金と努力主義　▲編輯室より
▲朝鮮講究問答　▲風聞餘話
毛髮の人類學……久保博士
鏡臺を持つ藝妓……中野保安課長
始政二十年の臺灣……工藤調理課長
吾輩の見たる北朝鮮……今川宇一郎
最近の朝鮮政變史……國分事務官
鑛業界の內幕……鐵火生
蒙古より……大渡生
母國風塵錄……加藤青風
余の實驗より見たる都會附近の營農……蒲生隆宏
朝鮮鳥の群より……天來生
小說　狂人日記……みなもと

發行所　京城旭町二丁目　朝鮮雜誌社　電話一二五〇番　振替京城一三一番

女鳩

渡邊默禪

『三』宿はないか

一寸見は十六七、ときによると一つ二つは出てゐるかも知れない。美しい女の目は年齢の數字を消す刷毛であると、或る詩人が言つたその調法な道具は、この令嬢も自然から與へられてゐる。いや、美しいのは目ばかりではない。顔面肉の中樞として、ついた鼻の形も品よく整つて、緊つた口と薄い唇と、さうして濃い眉とゆたかな耳とを統一して、そこに平均された美を締めくゝつてゐる。皮膚も同じく美しい、白粉などは不必要であるほど細胞中の黒色素がうすい。寒い國への旅行だけに隨分氣をつけた服裝なのか。青色のロング、ジャケツの上に、黒い光澤のあるビバー皮の上衣を著込んで、袋鼠の靴を穿いてゐたが、すつぼりと眉深に冠つた黒天鵞絨の頭巾の横には、紅色リボンの小さな蝶をピンで止めてあつた。

これが外から見た鳩子のざつとした輪廓である。

從者の生駒吉十郎は紺三つ揃ひの背廣にカーキ色のカバーコートを著て、藍がゝつた鳥打帽といふ打扮。もう三十から出た年配の、鼻の大きい、腮の割合に短い、鬚のない、眼の細い、少し色の淺黒い男で、身長もそんなに高くない。傍に持出したトランクの上に袋入の獵銃を三挺立かけて置いて、薄ラクダ毛織の主人の膝掛を大事さうに持つてゐた。

『いや、お待遠さまでした。』其處へ雪を蹴つて驅つけて來て、はつはつと喘む息の下から愬う言つたのが、詰襟の金釦のついた學生服に、古つぽい軍艦絨紗のマントを被つて。私立大學らしい角帽を冠つた若僕だつた。

『どうした、おい、有つたか。』生駒は一歩ふみ出して訊いた。

『いや無いです。』

『なに、無い？』眉を險しくして『楢輔なんか何處の停車場でも、十軒や廿軒ならいつでも有るやうなことを言つてた君が、此處へ下りてから無いですと濟まされちやあ困るぢやないか。そんなことを奥州通をもつて自ら任じてゐる君の値打が零になつちまふよ。僕等は歩くとしたところで、お二方を何麼するんだ。チョツ仕様がないなア。』睨めながら舌打した。

『いや、平生ならばこんな寒村でも二三軒は必ずあるんですが、今日は陰暦の十二月廿四日で、庚申祭を兼ねた村の忘年會があるんださうです。で、楢はあつてもそれを挽く者はみんな酒に酔つばらつてゐて、いくら頼んでも應じませんのです。』

すらりと高い體を降る雪の中に直立させて、ぱつちりした涼しい目に微笑を含ませた若者が、爽かな聲調で愬う答へた。と、大河野子爵は驛の入口から搖ぎ出して來て、

『楢がないなら無いでよいぢやないか。少しぐらゐの路程なら歩いて行つても構はんが、大野、此先どのくらゐあるね、谷地といふ町までは。』

『左樣でございます、丁度二里といふ距離ですが、その間は重に原野地ですから、お歩行では非常に困難だらうと思ひます』

『何うか。』屈托したやうな面色で、『私は歩けんことはないが、鳩さんがなアこの雪ぢやあ到底も……』大野

『此邊に宿屋はあるかな。』

『宿？』若僕はちよつと答にまごついた。『さア、無いことは御坐いませんが、有つたにしましても名ばかりの小さな旅籠です。』

『どんな家だ』

『まア、東京の木賃宿と見たり難く弟たり難しといふところです。』

『私は木賃宿といふものを知らんが、小さくとも寢るだけの設備はあるぢやらう。其處に一泊したら如何ぢやのう、生駒。』

『ゐッ。』生駒は喫驚したやうに子爵を仰見げた。『お泊りになりますんですか、あの木賃宿に。』

『いや、御前なんかお泊りになられるやうな家ではありません。』重に鐵道工夫とか行商人とか、そんな下級の者が宿泊する所ですから、非常に不潔なんです。』大野は説明した。

『至極面白いぢや、それが……往け〳〵、大野案内せい。』

生駒と大野は思はず顔を見合せた。

キヤラメルもよし若菜かけ パンもよし 京城明治町 電話二八七〇番 木村屋

肌に軽く 着心地よき 夏物の めいせん ちゝぶや 京城本町二 電話八九〇番

公州山城吟社句集 (初夏 田植)

雲低き麓の小田の田植哉 可舟
植ゑすゝむ我田小さき思哉 雨村
習ひ得て田植ゑ試む模範的 不酔
牛日を雇主が小田の田植哉 如風
村を舉げて神饌の田に植競ふ 雨村
五斗落の足を安んず田植哉 友萍
牛小屋に牛長鳴きて田植哉 可舟
講莚に次て實習の田植哉 清香
急遽赴任を仲上に田植見やりけり 伺
植ゑすゝむ田や正條に移住民 香川
初夏や村を流るゝ濁川 雨村
初夏や瓦斯の灯に酌む傘の先 清香
五反田に水ひた〳〵に夏來る 雨村
初夏の杖振りて人通りけり 同
灰篩ふ禅の艶に夏來る 如風
初夏や小馬數ふる牧場主 雨村
初夏の官邸白き日覆哉 孤舟
植ゑすむ田や銅鑼はやして狂ひて 鳥兎
かろく渡る初夏風や驄馬の耳 同

新刊紹介

▲大正千字文 小學校にて學習せる漢字を悉く網羅して明治天皇の御治績國民としての日常の心懸を記述せるものにて一時間内に通讀し得且つ欄外には文字の讀換を掲げたれば小學校卒業生にして實務に從事する者には補習讀本となり更に高等の學校に進む者の爲めには試驗準備用として便なるものなり(十五錢東京市外西大久保二四相原米太郎)

▲獨逸思想と其背景 一言にして謂はゞ獨逸が今日の隆盛を致せる思想の根源即ち中世末期以後の獨逸哲學を通俗的に叙述せる簡潔なる歴史とも見るべきものなる事は著者朝永文學博士が序文にて述べたる如し蓋し獨逸今日の軍國主義も其の因て來る處はルネッサンス期の神秘說より理性の哲學即ち獨逸哲學の出現に在り單なる歷史眼より見たる識家は其治亂興亡の跡を尋ぬるのみなるも汎理論的立場より見れば之等の背後にはヘーゲルが和論者に反對して戰爭の哲學的意義を認めたる如く人文が論理的發展を爲しつゝあるを知るべし要之國民思想の默移は國家隆替に至大の關係あるを知ると同時に本書の如く獨逸に學ぶべきもの多き我國が其の根源に遡りて之を研究せるは一般讀書界に取りて有數の書と謂ふべし(七十五錢東京日本橋區本石町三東寶文館)

▲新々英和辭典 出版界の覇者三省堂が復活後第一の試みとして新に出版した英和辭典を一覧したが、是ならば英語の初學者に使用せしめて危險が無からうと思はれる、特に從來此種の英和字典の一大缺點とせられたる假名に由る發音法に就て深く苦心しただけあつて克く其の缺點の大部分を補ひ得たるのは初學者の爲に最も喜ばしいことである、語數及び譯語が初級用として少しく多きに失する感はあるが然し此種の辭典にして此の位の有に出づるものは一寸出來まいと思はれる(定價壹圓八十錢東京京橋區三十間堀三省堂)

▲コドモ(三の六) エバナシ、オトギバナシの中に教訓になるやうなふくんだ幼つちやの雜誌(十二錢東京市小石川區林町五七其社)

▲良友(一の六) 僕も三年生になりました此の雜誌良友を家庭の良友としませう(十二錢東京市小石川區林町五七コドモ社)

▲學生(五月號) 執筆者には松本、吉田、長岡、岸上、飯塚、杉本の各博士太田、江原、杉、安井、田中、吉岡、島田の各學校長講師あり、記事には主張柱月氏の山へ山へ、な卷頭に科學小説一千年も堅紙使た勸るの記試驗準備は何うすれば可い乎學生英字新聞其他あり(價拾小拾錢(二十錢)東京市神田區裏神保町富山房)

讀者の領分

▲米倉町の某氏よいつぞや夜中大に吠られ非常に御立腹の樣でしたが其の犬は未だお分りでないならば御知らせ致しましようか今貴方の近くに飼養されてゐますぞ(知らぬ顔)▲六月の末か七月初旬東京角力が來るさうですが田舍廻りをやつて異れないものでしようか五百圓手附金を出しますが(仁川角力狂引满生)▲前略小生は過日本町二丁目の某洋雑貨専門店にて一本買入れ歸宅後檢見したら古物故交換に往きたるに全部古物許りには驚きました古物と云ふは寶るはひどい(驚き生)▲貴さんが學の稀古を本職にして主人の俸給より收入が多いから朝から晩迄「コロリシャン」は止めるとが出來ませんそれに上官の嬢ちやんの御機嫌取ですゝ釜敷位ゐは我慢なさい(旭町官人)▲海戰記念號にネルソンが無敵艦隊を破つたと書いてあるか無敵艦隊は西班牙のので其の撃滅は一五八八年トラハルガー海戰は一八〇五年ネルソンは二百年以上生きたと見ゆる、はてねお心當はありませぬか(博士第二世)

朝鮮總督府 一木材外壹點右競爭入札ニ付ス詳細ハ六月二日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府ノ掲示ヲ見ヨ

京日案内
普通(一回前金三十錢(假名一回毎に金五錢増))
番外(一回前金六十錢(假名一回毎に金五錢増))
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

外交員 者給持約募集に經驗ある者歩合多大手當給す希望者本人來談 櫻井町壹丁目七三日鮮圖書普及會 328
▲金澤博士日詰類解 ▲菊版七五錢送無 日鮮双解の字典 320
◉本町◉振替武武參ウツホヤ書店
◉有給社員至急募集 京城黄金町二丁目 ▲明治公報支部 170
◉漢陽公園南裏三坂通關瀞
◉貸家 官吏向家賃格安
管理者 龍山印刷局の先 畑中 183
病院並地方患家の付添及看護婦派遣に應す 朝鮮看護婦會 311
京城櫻井町二ノ一九一 電二五三二番

番外

新聞配達人數名募集 希望者は直接本人來談あれ但市内に確實なる保證人を要す 京城明治町三丁目 電話一二六 町田新聞部 329
風は萬病の基 すぐカゼピリンを召せ 304
月給拾八圓以上支給す▲浅野樂器店 外社員若干名募集 京城旭町一丁目 要す希望者は東大門 ミシン會社 321
持參の事京城發午前八時の春川行自働車 322
京城春川間自働車 京城發午前八時 春川發午前八時 313
南大門通 京城黄金町 鮮語科 英語科 新學期 甲乙丙共 三ケ月修業 京城青年會 313
化粧品 食料雜貨 井上商會 京城黄金町二丁目 電話二〇八三番 306
前記へ移轉諸品取揃へ勉強仕候
讓店 最目拔場所 京城本町 有利確實 商業 希望者は電話二〇二五番 324
茶。花。琴。教授 師となる迄教授を受くることを得 京城大平通丁目 北村二丁目 明月舘南側 本店新製 小五錢 327
クリームキヤラメル 大十錢 パン木村屋支店 元町 京城明治町 電話二八七〇 178
新築移轉 京城本町三丁目 大工道具及金物類卸 小林万録 電話八四番 振替一七八〇番 317
手術看護 服事務 服門東 地方は御一報次第見本地送呈 黄金町二ノ一三 電二〇八七番 東屋茂木 316
店員入用 確實なる保證人を有する十五歳より廿歳迄の希望者は至急來談 仁川本町三丁目 增本酒店 314
水銀 新荷著 保税品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五二七四 振替京城二五六

● 新劑の發見と藥味の改善は 吾社の生命
黴病梅毒痔疾 及食弱性諸症 患者諸君 是非御一讀を乞ふ

內務省衛生試驗所長 藥學博士 平山松治先生
帝國醫科大學病院長 醫學博士 伊藤隼三先生
大阪醫科大學校長 醫學博士 佐多愛彦先生
赤十字社病院長 醫學博士 永井純三先生
同內科醫長 醫學博士 前田松苗先生
緒方病院長 醫學博士 緒方正清先生

等を始め東西各醫藥學大家の分拆御報告及御賞讃を得たる(獨乙製舶來へモクロビンに勝る事數等なりとして世界の學者の熱賞に値する)
滋養血液元素 オーソールを始めとし りん病ばい毒痔疾婦人病藥の各種
は凡て吾が商會が多年研究に研究を重ね學理に諳ひ實見に徴し幾多貴重の犧牲を拂ひ漸くにして成功せるものゝみなれば、而も向日に月に剋一剋と駸々乎として止まざる學理の進歩に鑑み吾社試驗部に於ては常に世界最新の學說を漁り絶えず新劑の發見に努めつゝあり

無効返金 百圓進呈

りん病 請合藥
特製參圓 普通貳圓 小包送費拾貳錢 (壹週間分)

ばい毒 請合藥
特製貳圓 普通壹圓廿錢 小包送費拾貳錢 (壹週間分)

痔疾 請合藥
內外併用 壹圓四十錢 小包送費拾貳錢 (壹週間分)

婦人病 請合藥
內用壹圓 外用六拾錢 小包送費拾貳錢 (壹週間分)

代金引換小包は送費廿錢一錢郵便切手にて前納を乞ふ

右新劑梅毒藥は治療劑として徹毒藥は驅黴內服藥として方今世界の醫學上藥學上第一有効と確認せられ東京、京都、九州帝國醫科大學病院試驗所が檢査封緘せる正確なる高貴藥を主藥として製劑しあり、部九州帝國醫科大學病院等に於て卓絶せる効力有りと賞揚配劑せられつゝありて衛生の事を保證す道は眞人騙しの出鱈目に非ずして斯界の學士、博士の前に斷言するを憚らず何人にても分拆の結果前述の證言に違ふことあるを發見せらるゝ時は分拆料として偽効無き患者諸君よ、鬼に角最後の手段として一度當商會へ來れ根治法を懇示す

無効藥價必返金す
金百圓を進呈す

◉本劑は他店に無し直接申込みあれ照會は返信劵添付の事
◉右廣告記事に一言半句と雖も嘘なし僞なし彼の幾多無稽の妄說を揭げて得々たる山師的詐欺廣告の類に非ず

●注意

古來誇大なる事の比喩に藥の廣告の如しとの言あり、之れ藥界裏面の一端を穿てる實際なり、嘗て世界に誇るべき花柳病藥として各地の新聞紙に廣告せられつゝある某商會製藥の効力一件につき、吾がドラツグ商會と同店との間に端無く一大紛爭起り大阪控訴院に於て京都醫科大學病院、九州醫科大學病院府縣立病院等全國官公立十五大病院よりの回答並に同攻志立醫學博士、筒井醫學博士、田村醫學博士を始め各九州醫科大學教授醫學博士七理憲吉先生「等各大家の著書により」て辯論せられたる結果公明正大なる判決あり、て吾がドラツグ商會の全勝に歸したる事は京阪數多の藥業新聞を始め全國各地の新聞紙上に報せられたれば讀者諸君は先刻御承知の事ならん○見よ藥界の廣告の如き稀には正直なるものゝ無きにはあらざれども中には大家の氏名を盜用して學者より訴へらるゝもあり、或は無稽の妄說を揭げて罰せらるゝものありて斯かる極端なる例は措て問はずもがな、彼の金力により博士大家の名を利用するが如き如何はしき、千百の證明書、夫れ幾何の價値かある廣告には初號活字の表題を以て學理上不治の難症と公認せられある疾病をも必ず全治すと吹聽す之れ古來誇大の比喩に藥の廣告を以てせらるゝ所謂なり

患者諸君よ廣告には如何に博士の方劑と言ひ大家の發見と稱するとも世界文明國の最高學府即ち吾が日本の大學病院等に於て之が効力を認めずとして使用せざるのみならず、大學諸教授の眼中に無きが如き藥劑の効力如何は諸彥が常識の判斷に俟つべきのみ、吾が商會は常に卓越なる藥劑の實効に依賴し決して山師的誇張の廣告を爲さず全快總狀の如き眞に机上積んで山を成せども營利の手段に之を用ふるが如きは患者諸君の名譽を尊重するの道に悖るを想ひ一切を省略せり讀者諸君諒とせられん事を

本舖 大阪(花柳病專門藥房) 合資會社 ドラツグ商會
花柳病專門藥房 ドラツグ商會滿鮮本部
京城南大門外停車場通り
長電話二五六七番
振替口座京城四六七番
支店 黄金町 龍山漢江通り 元山仲町 釜山南濱

タングステン
川手商會製造鐵機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一褒狀三を授與され朝鮮に於ける鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得
京城南大門通五 電話一〇四番 中根商會

新刊書御案內

書名	著者	定價
會社法運用	木村房次郎	二、八〇
新訴必勝法	佐藤毅堂	六〇
最近犯罪の研究	羽太鋭治	一、三〇
受驗參考國語解釋要說	內海弘藏	九〇
獨學自在勉强の仕方	奥村二秋	八五
英文法の先生	花岡雅定	七〇
獨逸思想と其背景	朝永博士	七五
英朋詩集うた姿	英朋	一、五〇
少年傑作文集	二宮春田	三五
歐集末練	吉井勇	六五
耶蘇の宗吾	原抱一	一、〇〇
人の裏	橋濱蘇堂	八〇
夢の女	永井荷風	七〇
續お目見へまわりなでしく		三五
第二之女	小山內薫	四〇
通俗講話花鳥風月		九五
春浪快著集	押川春浪	一、三〇
新式園藝寶典	鈴木爲次郎	六〇
謠曲講義	鈴木鼓卿	一、三〇
碧梧句集	大須賀乙字	六〇
俳句自由自在	武田鶯塘	七〇
荒木又右衛門	長編講談文庫	三〇
猿飛佐助大名探	長編講談文庫	三〇

京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

質 完全なる倉庫あり御報參上何品でも御預申升 明治町二丁目交番東小路 片山質舖
質 京城黄金町二丁目(永樂町停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 相模丸 六月四日 正午出帆
高砂丸 六月十二日 正午出帆
三河丸 六月廿四日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路(京城線航路は除く)御乘船の時は五分前以て御切符御買求仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶大阪行 大智丸 六月八日 後五時出
×天智丸 六月十二日
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 安東丸 六月六日 後二時出
×天智丸
×木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 信濃川丸 七月四日 後二時出
○信濃川丸 六月十六日
×鎭南浦、大連行 信濃川丸 六月十一日 後二時出
×大連直行 福州丸 六月十八日 正午出帆
○潮州丸 六月八日
△群山、釜山、横濱行 潮州丸 六月十三日 後二時出
○福州丸 六月廿二日
△滿津、浦潮行(元山出帆) 城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
×印ハ 須磨丸 六月十八日 後二時出
▲安平丸 六月十四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 六月十七日 後四時出
湖北丸 六月六日
御注意 ○御乘船切符發賣仕候 ○運絡切符は本船出帆約一時間前迄發賣仕候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り ○朝鮮郵船線航路及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇番 內國通運會社支店 電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し京城切符發賣所に於て御引門司方面割引切符を以て御乘船切符發賣仕候

商況

大阪株式特電

(和歌山紡 合同紡績 鐘淵紡績 阪上新株 …)

一七二、二〇 一五一、〇〇 △一日後場 六月限 一三一、七〇 七月限 一三一、九〇 … 一三三、四〇

寄付十五圓七十七錢此め七十錢 四十一

下關期米特電

仁川米豆取引所

△一日後場 △大阪南北五圓七十七錢後…

△在米減少す 五月三十一日現在 …

(寄付 止値 高値 安値)